

## 審議会等会議録

発言者	会議のてん末・概要
司会	<p>定刻になりましたので、始めます。</p> <p>本日の司会進行を務めます久喜市教育委員会指導課の川島でございます。どうぞよろしくお申し上げます。</p> <p>開会のことばを 選定委員 松村 薫 様、お願いいたします。</p>
副委員長	<p>ただいまより令和6年度 第2回久喜市教科用図書選定委員会を開会いたします。</p>
司会	<p>御挨拶を賜ります。</p> <p>久喜市教科用図書選定委員会委員長 内山 真二 様 お願いいたします。</p>
委員長	<p>梅雨入りし、毎日蒸し暑い日々が続いておるところでございます。本日は御多様にも関わらずお集まりくださりましてありがとうございます。</p> <p>さる4月23日の第1回久喜市教科用図書選定委員会から約1か月経ちました。今回の教科用図書選定に関しましては、皆様方から御理解と御協力をいただき、適切に運営されておりますことに重ねて御礼申し上げます。</p> <p>この間、採択替えの趣旨に基づきまして、5月16日に中学校各教科の専門家に集まっていただき、第1回の専門委員会を開催し、教科書の調査研究を依頼したところでございます。</p> <p>また、教科書展示会でございますけれども、久喜市にいたしましては、6月14日から、28日までの24日を除く14日間、鷲宮中央コミュニティセンターにて行われました。</p> <p>教科書展示会には、336名の来場者があり、教育関係者はもとより、市民の教科書採択についての関心の高さをうかがい知るところでございます。</p> <p>本日は、調査研究専門部代表からの報告等を十分に検討し、慎重に審議をお願いしたいと思います。皆様のご協力により、適正かつ公正に選定を行い、7月22日に行われます久喜市定例教育委員会にて報告をし、その後、教科書採択が決定されることとなります。</p> <p>久喜市の中学生一人一人により適切な教科書が選定されますことを御願ひ申し上げ、簡単ではございますが挨拶といたします。どうぞよろしくお申し上げます。</p>
司会	<p>それでは、初めに資料の確認をいたします。資料は全部で3種類です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和6年度第2回久喜市教科用図書選定委員会 会議資料</li> <li>2 専門部会 調査研究 報告書</li> <li>3 採点用紙</li> </ol> <p>以上でございます。</p> <p>なお、前回学校調査結果を参考としてお配りすると説明いたしましたが、公正公平性を保つため、資料は調査研究報告書のみとさせていただきます。不足がございますでしょうか。</p>
司会	<p>「久喜市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則」第7条の規定にしたがいまして、議長を選定委員会委員長の 内山 真二 様お願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。お手元の次第にしたがって、議事を進めさせていただきます。</p>
議長	<p>まず初めに、「選定にあたって」事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>会議資料1ページをご覧ください。</p> <p>選定の手順について御説明いたします。</p> <p>まず中学校各教科の調査研究専門部会長による調査研究報告がございます。</p> <p>その後、質疑、応答の時間をお取りします。それが終わりましたら、専門部会長は退室し、皆さんに協議、そして、採点用紙に記入の上、採点フォームに入力していただきます。</p>

	<p>各出版社を5点満点で採点していただきます。本日は選定委員が5名ですから、25点が満点となります。すべての教科の報告、協議、採点が終了してから採点結果を集計し、皆様に報告いたします。</p> <p>その「集計結果」「各学校における調査研究の結果」及び「展示会アンケート」を資料といたしまして、久喜市教育委員会令和6年7月定例会に提出いたします。</p> <p>本日の集計結果が、採択結果ということではございません。</p> <p>久喜市教育委員会定例会で採択されるものが「久喜市における令和7年度使用中学校用教科用図書」でございます。</p>
議長	<p>事務局案に御質問、御意見はございますか。</p> <p>御異議なければ、「事務局案」で選定を進めてまいります。</p>
議長  国語部会長	<p>それでは中学校の調査研究報告を始めます。</p> <p>はじめに「国語」です。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>説明をお願いします。</p> <p>国語科の専門部会から報告いたします。</p> <p>1 はじめに、「内容」について報告します。</p> <p>(1) 東京書籍「新編 新しい国語」では、「知識及び技能」では、情報の整理や関係について学ぶ「情報と論理の学び」が、「読むこと」の教材と「書くこと」「話すこと・聞くこと」の教材の間に配列されており、学んだことをすぐに活かせる構成となっています。</p> <p>「思考力等」では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」について、キャラクターを活かした言語活動の各過程の具体例などが豊富に示され、生徒の多様な思考・表現を支援できるように工夫されています。</p> <p>「学びに向かう力等」では、各教材の初めにふきだしの形で目標が簡潔に示され、教材の後には「てびき」として学び方が示されており、「見通し一覧」で3年間の関連も確認できるようになっています。</p> <p>「読書に親しむ態度の育成」では、1年で図書館の活用やポップ作り、2年でビブリオバトルなど、全学年に読書活動が配列されています。</p> <p>(2) 三省堂「現代の国語」では、「知識及び技能」では、情報の扱い方に関する単元が各学年で特設され、グラフと図表の情報を文章に関連づけて考えを深め、グローバル社会で生きる資質・能力を育成する工夫がされています。</p> <p>「思考力等」では、「読むこと」では感性や想像力を育み、対話を通して考えを深める作品や、論理的思考力や批判的思考力を高める文章から、言葉で考え自分の考えを表現する力を高める「書くこと」につながるように設定されているなどの工夫が見られます。</p> <p>「学びに向かう力等」では、何をどのように学ぶのかを示した「学びの道しるべ」が各教材で設けられるとともに、巻末に「読み方を学ぼう」が一覧で整理され、振り返りを容易にしています。</p> <p>「読書」では、「私が選ぶこの一冊」「ビブリオバトル」「ブックトーク」などの読書活動が配置され生徒の興味関心を広げ読書に取り組む態度が育つよう工夫がされています。</p> <p>(3) 教育出版「伝え合う言葉 中学国語」では、「知識及び技能」では、「学びナビ」という項目で、各分野の学習をする直前に、関連した内容の学習が入り、円滑に知識・技能を習得できるように構成されています。</p> <p>「思考力等」では、「書くこと」では、学習の流れとポイントを示して言語活動が設定されており、「読むこと」では、文章の前にその題材がどのように書かれているかが示されており、生徒がめあてをもって学習に取り組めるようになっています。</p> <p>「学びに向かう力等」では、「学びナビ」が各題材の前に配置されていることで、見通しをもって学習に取り組めるようになっています。</p> <p>「読書」では、各学年において、題材と図書館の活用や読書交流、情報の活</p>

用の仕方を関連させた読書活動が設定されており、主体的に読書に取り組めるようになっています。

(4) 光村図書「国語」では、「知識及び技能」では、「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」を設け、実践的に知識や技能を習得できるようにしています。

「思考力等」では、「話すこと・聞くこと」では、全教材に QR コードを付け、動画視聴することで、聴解力やコミュニケーション能力を高められるようにし、対話・スピーチ・プレゼンテーション・合意形成の話し合いなど多彩な言語活動を取り入れています。

「学びに向かう力等」では、教材ごとに「学びの扉」で学習の見通しをもたせたり、特に身に付けたい資質・能力については「学びのカギ」で示したり、振り返りの自己評価では「何ができるようになったか」を自分の言葉で言語化し、資質・能力を定着できるようにしています。

「読書」では、1年でポップ作り、読書会、読書記録、2年でブックトーク、読書ポスター作り、読みたい本リストなど、様々な読書活動が示されています。

2 次に「資料」についてです。

東京書籍「新編 新しい国語」では、「未来を考えるための 9 つのテーマ」が3領域の学習と関連させて示され、巻末には、古典作品や学習内容・QR コンテンツの一覧表等が用意されています。

(2) 三省堂「現代の国語」では、巻末の資料編のなかに「学習用語辞典」が全学年で掲載され、国語の学習活動に役立つ用語を五十音順で、関連の深い教材と併せて示されています。

(3) 教育出版「伝え合う言葉 中学国語」では、「まなびリンク」によって動画や画像資料が盛り込まれており、全国学力・学習状況調査などを踏まえて演習的に学習できる「学びのチャレンジ」が設定されています。

(4) 光村図書「国語」では、巻頭の「学習の見通しをもとう」で領域別の身に付けたい力を他教科やSDG's と関連させたり、「思考の地図」で場面や目的に応じた思考法を示したりしています。

3 次に「総括」についてです。

(1) 東京書籍「新編 新しい国語」では、豊富な資料を用いて自ら学びを調整でき、「未来を考える」ことを通して「言葉の力」を養うことができる構成となっています。

(2) 三省堂「現代の国語」では、「学び方」がわかり、内容と表記が工夫され、現代社会を生きるための力を付ける言語活動や教材文が掲載されています。

(3) 教育出版「伝え合う言葉 中学国語」では、主体的に学習に取り組めるように構成されており、生徒たちが将来向き合う現代的な課題が多く取り上げられています。

(4) 光村図書「国語」では、教材の手引きで学習の流れと身に付ける資質・能力を可視化するなど、個別最適な学びの実現に配慮されています。

以上で、国語科専門部会からの報告を終わります。

議長

ありがとうございました。質問がありましたらお願いします。

委員

授業を変えるというところで、生徒の学びに向かう力は、人間性を見とるための工夫等がありましたら教えてください。

国語部会長

生徒の学びに向かう力や人間性を涵養するための工夫という点で御質問いただいたかと思えます。各社とも社会生活に生かせる言語活動や小論文などの教材が使われておりまして、言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、日本、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る、こういった態度を養う、得るような工夫がされているように見受けられ

<p>議長</p> <p>委員</p> <p>国語部会長</p> <p>議長</p>	<p>ました。</p> <p>よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。はい、お願いします。</p> <p>今お話の中にも出てきましたが、改めてお伺いしますが、QR コンテンツ、QR コードでの学びについて、何か特徴的なものであったり、こういうのが使いやすいそうだったというようなものがあつたら、今一度御説明をおねがいたします。</p> <p>はい、ありがとうございます。こちらも4社とも非常に充実しております、個別最適にそれぞれが選んで、見ることができるようなもの、あるいはそこからもった意見を交流するような事例がある、そういう協働的な学びを促すもの、これを一体的に促すような工夫がされているように思いました。</p> <p>他にございますか。ありがとうございます。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームに入力をお願いいたします。</p>
<p>議長</p> <p>書写部会長</p>	<p>次に、書写となります。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p> <p>書写の研究調査結果の報告をいたします。報告書の上から順に申し上げます。</p> <p>初めに「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」でございます。東京書籍では、運筆動画がよく工夫されています。真上からの撮影、速度の調節、ナレーション等、生徒の視点に立っていることが分かりました。</p> <p>三省堂では、学年に応じた単元が展開されており、具体的な時系列で、書き方のポイントが示されています。</p> <p>教育出版では、写真が非常に多く使われており、視覚的に理解しやすくなっています。</p> <p>光村図書では、画像と筆の図、筆の置き方等を示すことで、運筆をイメージしやすくしています。</p> <p>毛筆の特徴や字形、行書の特徴について目標とともに細かく分けて単元を設けることで知識及び技能が習得できるよう工夫が見られます。</p> <p>次に、「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」です。</p> <p>東京書籍では、書くことは、自分らしさを表現したり、より伝えやすくしたりするなどの意味や効果があることについて、教材を学びながら適切に身につくようにしています。</p> <p>三省堂では、「見つけよう」という問いにより、学習のポイントを見つけ、課題を意識しやすくしています。</p> <p>教育出版では、「考えよう」で実際に書くだけでなく、お手本を習得させたい事項について考えるタイミングをもてるようにしています。</p> <p>光村図書では、「考えよう」の活動を通して、文字を観察することで文字の調和や字形について思考を深められるよう工夫されています。</p> <p>次に、「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」です。</p> <p>東京書籍では、表紙を開くと、「文字を書くこと」についての適切な「問い」が投げかけられていて、スタートにふさわしいと考えます。</p> <p>三省堂では、見通しを立てて学習に臨めるように、この単元で何を学ぶかが明確に示されています。</p>

教育出版では、各単元の最初に「目標」、最後に「振り返ろう」が示されており、学習の見通しや学習事項の確認がしやすくなっています。

光村図書では、各単元において「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3つのステップに分け、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫してあります。

次に「毛筆と硬筆との関連」です。

東京書籍では、毛筆につなげるための硬筆、という視点も適切に記述されています。

三省堂では、毛筆で学んだことを、硬筆に生かす「書いて身につけよう」のページが設定されており、毛筆と硬筆の関連が図られています。

教育出版では、毛筆の学習単元においても、導入の段階で、硬筆で筆記することから始まるため、硬筆から毛筆への連続性があります。

光村図書では、本編で毛筆の書き方を学んだあと、「別冊書写ブック」において硬筆、毛筆の関連が図られています。

「各教科や日常生活との関わり」ですが、東京書籍では、「職場訪問における手紙」など、生徒の実情に合わせています。

三省堂では、「やってみよう」というページで、新聞作りや名言集の作成など、学習が生かせるような課題が設定されています。

教育出版では、「学校生活に生かして書く」という項目が各単元にあり、手紙やポスターでの硬筆や毛筆の生かし方が紹介されています。

光村図書では、「日常に役立つ書式」や「国語・学校生活」の項目で書写と日常生活との関わりが示されています。

次に「資料」です。

東京書籍では、文字の歴史に関する資料、伝統的な用具・用材に係る資料も充実しており、適量です。

三省堂では、巻末の「資料編」に多くの資料が掲載されています。その他にも、随所に図や写真、コラムなど、興味を引くようなものがあります。

教育出版では、巻末に「小学校で学習した漢字一覧」が硬筆の楷書と行書で、「補充教材集」として掲載されています。

光村図書では、「中学書写スタートブック」に「姿勢・筆記用具の持ち方」「用具の準備・片づけ」が写真とともに示されています。

次に「表記・表現」です。

東京書籍では、フォントも見やすく、適切な伝え方になるように、工夫されていることが分かります。

三省堂では、右ページに学習目標、学習の流れ、左ページに教材の文字が配され、見開きで授業の流れが分かるようになっています。

教育出版では、基礎基本の部分は少ない文章量で要点が端的に示されており、発展や資料については詳細な説明がなされていて、メリハリがあります。

光村図書では、運筆を点線により示し、筆を置く位置には「びたっ」などの表記を行い、学習者に分かりやすい表現を工夫しています。

最後に、「総括」でございます。

東京書籍では、この教科書を使って、指導をしたり、生徒自身が探究的に学ぶ様子となったりすることが十二分に期待されています。

三省堂では、学習内容が明確で、流れもつかみやすく、図や写真の工夫により一目で分かるものが増えております。

教育出版では、1ページあたりの学習量が多すぎず、シンプルで分かりやすくなっています。

光村図書では、「中学書写スタートブック」「書き初めマスターブック」「別冊書写ブック」など複数の資料を使い分けることで生徒の学習段階や学習内容に合わせて学習活動を行うことができます。国語の教科書と対応した教材が全学年で掲載され、国語の学習の際にも書写を生かしやすい構成になっています。

以上でございます。

<p>議長</p> <p>委員</p> <p>書写部会長</p> <p>議長</p> <p>委員</p> <p>書写部会長</p> <p>議長</p> <p>書写部会長</p> <p>議長</p>	<p>委員の皆様、質問がありましたらお願いします。</p> <p>書写の教科書を調査するにあたって、一番重視した点を教えてください。</p> <p>学習指導要領に基づきまして、文字を正しく整えて書く、そこに加えて、書写の学習で身に付けた資質能力を、各教科等の学習や生活の様々な場面で、積極的に課す態度を育成することができる、その視点を重視いたしました。</p> <p>他にございますか。</p> <p>書写の方も、QRコードを読み取ることによって、様々なコンテキストが入っていると思うのですが、特筆すべきと言いますか、とても参考になるというようなものはございましたでしょうか。</p> <p>どの教科書におきましても、QRコード、デジタルコンテンツの活用が大変工夫されてきました。</p> <p>それぞれの、例えば上から見た図ですとか、スピードを変えるですとか、それぞれの工夫もございましたが、どれも遜色ないと申しますか、生徒自身が工夫して、自分で個別最適に学べる工夫がされていることが見て取れました。</p> <p>他にございますか。</p> <p>私から1つお願いいたします。</p> <p>その他の教科の学習とか、あるいは生活の様々な場面で、積極的にその書写の授業で行った活動が日常生活に生かせるっていう視点もあると話が合ったんですけども、具体的にどういう工夫での日常生活に生かせるっていうのはいかがでしょうか。</p> <p>例えば、中学校ならではと申しますか、職場訪問における御礼の手紙の書き方ですとか、それから新聞作り、それからポスター作りなど、中学校の生徒が実際の他の教科でも十分に活用できるような事例がどの教科書にも、それぞれ工夫され掲載されておりました。</p> <p>分かりました。</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームに入力をお願いいたします。</p>
<p>議長</p> <p>社会部会長</p>	<p>次に、社会となります。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p> <p>社会科は、地理・歴史・公民そして地図の4分野についてまとめた説明となりますので、各項目について簡潔にお伝えいたします。</p> <p>初めに地理的分野について説明いたします。発行者4社について説明いたします。</p> <p>内容の1つ目「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」について。</p> <p>「東書」では、学習課題からまとめの流れで構造化されている。基礎事項の確認と要約や説明などの課題の問いで学習課題を解決できるよう工夫されている。</p>

ます。

「教出」は、学習のまとめと表現が章・節の最後に設けられている。丁寧な脚注などが学習内容を振り返り、基礎・基本の定着を図ることができるよう工夫されています。

「帝国」は、学習課題の提示からまとめまで流れで構成されています。最後には「確認しよう・説明しよう」が設けられ学習内容の復習がしやすいです。

「日文」は、「確認・表現コーナー」で学習を確かめるための問いが設定されている。各地域の特色が理解できるよう、単元内でグラフや写真資料が充実しております。

2つ目「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」についてです。

「東書」では、地域を調べる視点が明示されおり、地域を見る技能を習得できます。思考ツールもあり「深い学び」が実現できるよう工夫されています。

「教出」は、単元で扱う題材の中で何に注目して学習していくべきかが明確され、各章のでも、グループでの対話的な活動を想定した多様な問いを示しています。

「帝国」は、地域を分析するための視点が用意されており、単元を貫く問いと本時の問いが明確に設定されています。

「日文」は、「学び合いマーク」で生徒同士の話し合いなど、対話的な活動が保証され、地域を見る技能も習得できるよう工夫されています。

3つ目「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」について、「東書」では、地域ごとにテーマが提示されており、学習の見通しをもちやすく、小学校の学習内容とつなぎ、「探究課題」を立てることで興味・関心を高めることができます。

「教出」は、「確認」という項目で、学習した内容を活用して解決するような課題が設定されています。これによって、学習調整を図ることができるように工夫されています。

「帝国」は、単元の導入部で地域ごとに、テーマが提示され、学習の見通しをもちやすく、小学校の学習内容を振り返り、「探究課題」が設定されています。

「日文」は、導入部において、生徒が自ら課題を立て、単元の学習の見通しをもって各時間の学習課題に取り組むよう構成されています。

4つ目「課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫」について、「東書」は、「探究のステップ」を設定し、学習内容を振り返り、整理、積み重ねをすることで学習課題解決へつなげられるよう工夫されています。

「教出」は、導入からまとめをどのように表現すればよいのか、見通しをもった学習を行うことができるよう工夫されています。

「帝国」は、問いが構造化されていることで、学習者が地域を大きな視点で捉え、解決に向かっているよう工夫されています。思考ツールで考えを深めることもできます。

「日文」は、生徒が立てた問いを追究していき、「まとめと振り返り」において学習内容をまとめ、議論しながら振り返ることができます。

次に資料についてです。

「東書」では、写真・グラフ等の資料がとても鮮明で、他教科と関連で、教科関連マークを付け、教科を横断した学習の確認ができました。

「教出」では、アニメーション、デジタル教科書の教材等を豊富に取り揃え、アニメーションやフラッシュ型教材などの各種のコンテンツの機能が携わっています。

「帝国」は、資料の読み取りポイントを明示し、「資料活用」「小・歴・公の関連アイコン」を示し、既習事項と関連させて学習できるようになっていました。

「日文」は、2次元コードからWebサイトにアクセスすることで、ICTの活用にも幅をもたせることができるよう工夫されていました。

表記・表現では、どの教科書もUDフォントを採用し、「東書」は、地図や

グラフ等の資料が視覚的に分かりやすく配置されています。

「教出」は、資料と本文との関係を理解しやすい構成で配置されていました。

「帝国」は、図版に模様や線、記号などを使用することによって、色以外にも情報を読み取れるようにしていました。

「日文」は、地形図の立体感、視覚的な効果により地形的特色を捉えやすく使われていました。

総括です。

「東書」は、生徒の興味関心、深い学びにつながる文章表記、鮮明な諸資料等、単元を貫く課題と学習の構造化が配慮されています。

「教出」は、「卒業後も何度も見返したくなる教科書」を目指し、学びを広め・つなげる・深めるための工夫と、分野間の連携が行われていました。

「帝国」は、課題を解決するための流れが構造化されており、特に振り返りの視点と内容を深める問が設けられています。

「日文」は、掲載された資料が生徒の意欲関心を高め、学びの見通しがもちやすく、探求の流れが明確で課題を追求できる構成となっております。

地理については以上になります。

続いて、「歴史的分野」を説明します。9社について説明いたします。

内容の1つ目「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」についてです。

「東書」は、「チェック」「トライ」で、1時間ごとの学習課題に迫れ、スキルアップを順に追っていくことで資料が読み取りやすくなっています。

「教出」は、「確認」「表現」に取り組むことで、1時間ごとの基本的な知識の定着を確認することができます。

「帝国」は、年表を活用して時代の特徴を捉える工夫がされており、丁寧に内容も記述されています。

「山川」は、用語の解説が細かく、詳しく書かれており、本文の出来事の背景や展開などを詳細に記述してあります。

「日文」は、いずれの単元でも導入とまとめにおいて年表と地図を用いて、「時系列という見方とともに、」は、世界との関わりを常に意識しながら時代を大観できます。

「自由社」は、学習した知識を整理するチャレンジが設けられ、各章の最後の復習問題を解くページが設けられています。

「育鵬社」は、課題、確認、探求が1単位ごとに設定され、細かく復習がしやすく、様々な技能も高められます。

「学び舎」は、学習の流れが分かりやすく構成されており、「章の扉ページ」では、歴史的事象を地理と結びつけることにより、知識・技能の定着を図っています。

「令書」は、単位時間が2～5ページ程度で、学習課題、本文、資料が掲載されています。注釈で、理解を深め、文献資料や写真、コラムで、具体的なイメージがしやすいです。

2つ目「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」についてです。

「東書」は、単元のまとめに思考ツールを活用し、「みんなでチャレンジ」等で、議論等をできるように設定しています。

「教出」は学習課題に対して、教科書の資料や年表、地図などを活用する「表現」の課題が多く設定されています。

「帝国」は、対話によって単元を貫く問いを考察する活動が設定あり、自分の考えを表現の課題が多く設定されています。

「山川」は、単元のまとめを、多角的・多面的な視点でまとめ、統一した視点でまとめ方ができるよう工夫されています。

「日文」は、課題ごとに働かせてほしい見方・考え方の例が明示されており、資料を用いて読み取りと話し合いを行う構成となっております。

「自由社」は、学習を深めるためのヒントが提示されており、時代の特徴を



考察する際、ひとこと作文を作成する問題解決をする設定をしてあります。

「育鵬社」は、歴史学習に必要な情報収集・読み取り・まとめの資料活用能力を育成、定着できるようになっています。

「学び舎」は、「歴史を体験する」で、実際にその時代にいるかのような視点で考えることができる。まとめでは、設問を通して自分の言葉で表現できるように工夫されています。

「令書」は、「考えよう」が要所で設定され、学習課題のヒントにより生徒同士で意見を交換できるような工夫がされています。

3つ目に「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」についてです。

「東書」は、自分が生活する地域の歴史への興味・関心を持たせること、現代社会の課題に通じる話題を取り上げ、歴史と現代とのつながりを感じさせる工夫がされています。

「教出」は、ゲーム形式の学習の例等、教科を横断した見方の例を示すことで、学習の深まりや広がりにつながる工夫がされています。

「帝国」は、導入で学習する時代の見通しを立て、単元のまとめで、考えの深まりを確認する課題が設定されています。

「山川」は、その時代の世界の様子を体感でき、世界の中の日本という視点を持ちやすく、現代的な視点とのつながりが感じられます。

「日文」は、コラムがSDGsとの関連も示され、歴史的事象と現代的な課題とのつながりが感じられるようになっています。

「自由社」は、人物コラムが多数掲載され、生徒が伝記を作ることで、人物を通して歴史をとらえる工夫がされています。

「育鵬社」は、問題解決型の学習を促す構成で、「学びのナビゲーション」により、主体的・対話的で深い学びが実現されるようになっています。

「学び舎」は、人々の生活や世の中での活躍を記述することにより、生徒の興味関心を引き出し、世界地図と関連させ、時代を見渡して学ぶことができます。

「令書」は、時代の流れをつかむための資料等が随所に配置され、イラスト等で歴史を体感し学ぶことができるようになっています。

4つ目「課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫」についてです。

「東書」は、単元ごとに、探究のステップとして小単元の課題が設定されており、課題を追究する活動が構造化され、見通しがもてます。

「教出」は、キーワードを用いたまとめを繰り返すことで、単元を貫く課題の答えに導かれるよう設定されています。

「帝国」は、各単元の最後に、学習内容をこれからの社会の構想につなげる活動を取り上げています。

「山川」は、意図的に単元の記述は必要最低限にとどめ、教科書の内容にとらわれず自由な形式や方法で学習を進めることができるようになっています。

「日文」は、クラウド上でポートフォリオを作成することができ、学びの跡を積み重ねることができ、振り返りもできます。

「自由社」は、最初の課題設定から、途中の思考を揺さぶる課題、最後の自分の言葉でまとめる構成になっています。

「育鵬社」は、生徒に課題認識をさせる吹き出しで、課題を主体的にとらえることができます。

「学び舎」は、資料を読み取って、時代の特徴を考えていく流れになっています。歴史的事象と今日の社会との諸課題を結びつけています。

「令書」は、「field work」での課題を追究や巻末「ディスカッション」での、将来の社会について、社会参画の視点での考察をしています。

次に資料についてです。

「東書」は、資料と本文の違いが分かりやすく色別で示されています。巻末年表は、世界との関わりの中での日本の歴史を一気に確認できます。

「教出」は、実物の写真資料が多く採用されています。単元のまとめにおいて大きめの年表を用いています。

「帝国」は、紙面を大きく使ったイラストの資料が多用されています。写真や絵画、イラスト資料には注釈や補足情報が多いです。

「山川」は、イラスト資料が多く、イメージを持ちやすいです。授業での読み取り活動から自由な発想が持てます。

「日文」は、教科書 QR コンテンツが充実。地図資料や系図、仕組み図など色遣いが鮮やかで、はっきりと読み取れます。

「自由社」は、本文を補足するための詳しい説明が、各ページに設けられ、資料を深く読み取るためのヒントが書かれています。

「育鵬社」は、二次元コードで学習内容に関連する動画の視聴が可能で、生徒が視覚的に興味を持てるコラムが充実しています。

「学び舎」は、資料が大きく、色覚への配慮があります。グラフ等の資料が歴史的事象を考察できます。

「令書」は、コラムや文献で探究的な学習がしやすくなっています。本文の記述の中に、思考を深めるためのヒントが随所に書かれています。

表記・表現では、全社フォントはユニバーサルデザインを使っています。

「東書」は、文章量への負担感が少なくなるよう工夫されています。

「教出」は、色覚の個人差を問わず見やすく、解説や注釈が生徒の理解の助けになっています。

「帝国」は、本文はまとまりが大きく情報量が多いです。

「山川」は、本文は詳細な記述で、歴史的事象を細かく解説しています。

「日文」は、デジタルコンテンツが充実しています。

「自由社」は、学習している時代を示すスケールが各ページに設定されています。

「育鵬社」は、鳥の目、虫の目など歴史を様々な角度から見るような表現になっています。

「学び舎」は、資料名はフォントが変えられており、目に止まりやすいよう工夫されています。

「令書」は、漫画のようなイラストで、時代の雰囲気概観できます。総括です。

「東書」は、課題設定が構造化されており、生徒の学習の手助けになります。「持続可能な社会の形成者」としての学習者に示唆を与える作りになっています。

「教出」は、歴史的な見方・考え方が「時期や推移」「比較」「関連」の三種類に整理されています。

「帝国」は、思考ツールや単元を見通した学習活動の展開例など、歴史を多面的・多角的に捉える工夫がされています。

「山川」は、歴史的な事象や人物などへの深い理解と自ら課題を見つける力などが高いレベルで必要です。

「日文」は、課題解決的な学習が構造化され、見通しがもちやすく、「持続可能な社会の形成者」としての視点の考察があります。

「自由社」は紙面が AB 判を採用しており、コラムが生徒の興味関心を高めることができるよう工夫されている。

「育鵬社」は紙面が AB 判を採用しており、見通しがもて、問題解決型の学習を自己実現できるように工夫されています。

「学び舎」は紙面が A 判を採用しており、図版の配置や本文の記述が見やすく、多様な視点で歴史を学ぶことができます。

「令書」は、紙面が A5 判を採用し、縦書きで書かれており、歴史の流れが掴みやすくなっています。

以上で歴史的分野について説明を終わりにします。

次に、公民的分野について説明します。6社について報告いたします。

内容の1つ目「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」について

です。

どの教科書も見開き1ページで最初に導入資料と学習課題を提示し、本文・資料等を通して学習活動が進むような構成です。

その他、「東書」は、「スキルアップ」で、「教出」学習をサポートするコラム欄で、「帝国」は、「技能をみがく」「資料活用」の問いで、「日文」は、「情報スキルアップ」で、情報の読み取りや活用の際に必要な知識・技能を解説しています。「自由社」は、「ここがポイント！」において、授業でおさえるべきポイントが明確になっており、「育鵬社」は、「スキル・アップ」で、発表や討論などの技能を身につける、といった特色が見られます。

2つ目「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」についてです。

「東書」は、思考ツール等を用いて考えを整理し、探究課題の解決につなげたり、グループでの対話的な学びを実現する「みんなでチャレンジ」を設定されたりしています。

「教出」は、「**THINK!**」で資料を読み解きながら考察し、ディベート等の表現活動を行う「**TRY**」や、思考ツールを活用して考察して表現する「学習のまとめと表現」を設定しています。

「帝国」具体的なテーマを設定した活動型の学習を行うことで「アクティブ公民」や、単元を貫く問いを、思考ツールを活用して考察することで、学習を振り返ることができるようになっています。

「日文」は、現代社会の見方・考え方を働かせながら学習理解を深める「アクティビティ」や、現代社会の課題について考察・構想をする「チャレンジ公民」を設定しています。

「自由社」は、テーマを選択・考察し、表現する「学習の発展」や、現代社会の見方・考え方を働かせて考察する「アクティブに深めよう」が設定されています。

「育鵬社」は、見開きごとに学習内容を自分の言葉でまとめる鉛筆マークや、現代社会の見方・考え方を働かせ、小集団での協働的な活動を促す「やってみよう」を設定しています。

3つ目「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」についてです。

「東書」は、持続可能な社会の実現を意識できるように、現代的な諸課題を5つの視点で捉え、3年間の社会科学習を貫くテーマが設定されています。

「教出」は、実社会の課題と向き合い、探究していくことで社会参画の意識が高まるように各章末の「**JUMP!**（未来のためにできること）」が設定されています。

「帝国」は、各章の「学習の前に」では学習内容を概観する導入や視点がイラストとともに示されており、章全体の見通しをもって主体的に学習に取り組めるようになっています。

「日文」は、各章の導入では、その章の学習内容を概観する漫画が掲載されており、見通しをもって主体的に学習に取り組めるようになっています。

「自由社」は、重要なことがらを深く理解するために関連する単元に特設ページとして「もっと知りたい」というコラムが設定されています。

「育鵬社」は、各章の章末には、章で学習した内容を踏まえて、社会に見られる課題を自分ごととして考えさせ、社会参画への態度を養えるように設定されています。

4つ目「課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫」についてです。

「東書」は、各章が課題解決的な学習のプロセスを可視化した、導入・展開・まとめの単元構成や、「探究課題（章ごと）」「探究のステップ（節ごと）」「学習課題」の3段階の問いを設定し、課題を追究・解決がしやすいです。

「教出」は、各章の導入では、生徒の生活体験から出発する「ウォーミングアップ! 公民」からはじまり、単元を貫く課題を捉え、見通しをもたせています。さらに、1単位時間ごとに学習課題を提示し、課題を追究・解決していく

設定となっています。

「帝国」は、章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に問いを、末尾に課題を設けています。それぞれの問いと課題では、協働的に学習する場面が設定され、課題の追究・解決に向けて取り組めるようになっています。

「日文」は、各章の学習内容を活用し、現代社会の課題について考察、構想する活動として「チャレンジ公民」が設定されています。

「自由社」は、各単元の最初に学習課題が設定され、最後に授業でおさえるべき確認事項をまとめた「ここがポイント！」が示されています。

「育鵬社」は、各章及び見開き1単位時間の紙面では、「つかむ」・「調べる」・「まとめる」の問題解決型学習の構成となっており、学習内容を深く理解し、追求できるようになっています。

次に資料についてです。

「東書」は、各章の導入等に他分野・他教科との関連を示すマークが付されています。また、QRコードやURLのリンクから、他分野・他教科の紙面確認や、動画が活用できます。

「教出」は、「まなびリンク」からウェブサイトを紹介して関連サイトから情報や資料を収集することができます。

「帝国」も、QRコンテンツや、パソコン等での資料の閲覧が可能になっており、他分野の教科書の参照、振り返りができるようになっています。

「日文」も、QRコードが使えるようになっており、ポートフォリオ、イントロダクションムービー、確認小テスト等を利用できるようになっています。

「自由社」は、「ミニ知識」というコラムを設け、学習内容の理解をより深めようと工夫されています。

「育鵬社」は、QRコードから学習内容に関連する動画を閲覧したり、情報を収集したりすることができます。コラムを設け、自らの日常生活や将来に向けてどう役立つかを示しています。

表記・表現では、

「東書」は、全体の書体はUDフォントを採用し、資料の部分は本文との区別が視覚的に分かりやすくする色を区別することで見やすくなるように工夫されています。

「教出」は、全体の紙面は、視覚的な特性を踏まえた配色、表現になっております。

「帝国」も同様、紙面は色覚等の特性を踏まえ、カラーユニバーサルデザインに配慮しています。

「日文」は、グラフ・地図等の図版の配色に配慮があり、学びやすくなるよう工夫されています。

「自由社」は、全体の紙面は、ゴシック体を採用しており、重要語句が関連した単元に複数掲載されているなど、全体のつながりを意識して学習を進められるよう工夫されています。

「育鵬社」は、全体の紙面は色覚特性を踏まえて、図版を判別しやすい色をつかっています。

総括です。

「東書」は、「単元の構成」で課題解決的な学習のプロセスが可視化され、学習課題、本文、資料、チェック&トライ等、紙面の要素を定位置に配置し、学習の見通しがもてる工夫がされています。

「教出」は、各章の学習のはじめに課題を捉え、見通しを立て、課題解決的な学習を積み重ね、まとめの学習で振り返り、考察する流れとなっています。

「帝国」は、各章の初めに単元を貫く問いを明示し、見通しをもった学習に取り組めるようになっています。さらに、節の問いや章の問いに取り組むことで、単元の学習を振り返る作りとなっています。

「日文」は、構造的に「章の問い」や「節の問い」が設定され、その回答を行うコーナーやページがあり、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されています。

「自由社」は、各章の最後に学習課題を解決するための視点として「学習のまとめと発展」が設定され、様々な表現活動に取り組みます。

「育鵬社」は、各章の導入で学習内容の趣旨を捉え、章末には、その章で学習した内容を踏まえて、課題解決的な学習に取り組む工夫がされています。

最後に「地図」についてです。「東書」と「帝国」の2社について説明します。

内容の1つ目「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」についてです。

「東書」地理や歴史の教科書と同じ大きさで、広い範囲の地図を大きく表示することができるようになっており、多くの情報を得ることができるよう工夫されています。

「帝国」は、地図帳使い方が明記されており、効果的に利用できます。さらに、随所に、「地図で発見」、「地図で活用」があり、生徒の地理的スキルを高める工夫がされています。

2つ目「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」についてです。

「東書」は、「Bee's eye」の間に取り組むことで、1枚の図から複数のことを読み取ったり、複数の図から資料を比較したりすることで、資料活用スキル、思考力、判断力、表現力を育成することができるようになっています。

「帝国」は、様々な資料が1つのページにまとめられており、また、縮尺も統一されているため、比較がしやすいです。「地図で発見」から、社会的な見方・考え方を働かせることができるようになっています。

3つ目「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」についてです。

「東書」は、多彩なQRコードで、学びがサポートされ、問題を解いたり、web 地図の解説を聞いたり、主体的に地図帳を活用できるように工夫されています。

「帝国」世界の各州の最後にイラストで資料が掲載されており、日本の各地方の最後に写真付きで資料が掲載されていたり、生徒が主体的に学習したいと思える工夫がなされています。

4つ目「課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫」についてです。

「東書」は、SDGsなどの現代社会に関する資料やアイコンが掲載され、諸課題を捉え、主体的に解決に取り組む態度を育てることができます。

「帝国」は、「地図で発見」やSDGsに関する資料やアイコン、学びをサポートするQRコード等により、課題を追究・解決する活動ができるようになっています。

次に資料についてです。

「東書」は、QRコードの資料が充実しており、地球を様々な表現方法で見ることができます。地図の拡大縮小ができ、世界の気候や景観をカラーで見ることができ、また、解説動画も見ることができます。

「帝国」は、地方ごとに人口や自然に関する資料等が細かく掲載されており、調べ学習の際に活用することができます。QRコード資料も充実しており、主体的な学びを助ける工夫がされています。

表記・表現では、どちらもUDフォントが使用され、見やすく工夫がされています。出版社の他分野他教科との関連もなっており、地理と歴史的分野との対応をしています。

「東書」は、立体感のある地図表現になっており、また、文字や写真が鮮明で見やすいです。

「帝国」大判の紙面で書かれているため、全体を捉えやすく、地図中の国名・都市名は、配色の工夫により文字が読み取りやすいです。

総括です。

「東書」は、地理的分野の教科書の構成に沿った配列、資料集としても十分活用できます。

「帝国」は、大判で、各地方の資料図が同縮尺で、ひと続きで掲載され、多

	<p>面的・多角的に捉えやすい地図帳になっています。 以上、社会科部会の報告となります。</p>
議長	<p>では、社会については4点お話がありましたので、地理、歴史、公民、地図がありましたので、分けて質問を受けたいと思っております。 まず地理につきまして質問がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>地理分野で、教科書の調査にあたってどのような点を1番重視されましたか。</p>
社会部会長	<p>現行の学習指導要領の改訂の趣旨及び要点に重きを置かせていただき、以下の3点に重きを置きました。 1点目が、知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされているか。 2点目が、思考力、判断力、表現力等を工夫するための工夫がなされているか。 3点目に、学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされているか。 この点に重きを置かせていただきました。</p>
議長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>現代的な諸課題に関する学習について、扱われ方についてはいかがでしょうか。</p>
社会部会長	<p>各社とも、現行の学習指導要領で明示されているような、将来につながる現代的な諸課題が挙げられています。例えば環境、エネルギー、人権、平和、伝統文化、防災、安全、情報技術。 これらを通して、持続可能な地域のあり方につなげ、現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度の育成を目指して、そのようなことがすべての教科書で記載されておりました。</p>
議長	<p>他にいかがでしょうか。 続きまして歴史です。歴史について質問がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>小学校と異なって、中学校ではこの辺りが深く勉強できるようになっているというようなことがございますでしょうか。</p>
社会部会長	<p>小学校の社会科では、中学校社会科の分野別の構成とは異なっています。社会的事情を総合的にとらえる内容として構成されています。社会的事情として、歴史と人々の生活について、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、それから事象や人々の相互関係などに注目して捉え、比較、分類したり、統合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりして、中学校では学びます。 それに対して、中学校の歴史学習は、分野として、歴史の中の日本の歴史を時代の流れの中で学びます。時期、推移などに注目して捉え、類似や差異などを明確にしたり、事象同士の因果関係などで関連付けたりして学びます。 過去の出来事が自然環境や世界の人々とのかかわりの中で、現在が形作られてきたことを学び、それらを踏まえて持続可能な社会をこれからどのように作っていくか、中学校社会で学ぶ歴史と言えます。</p>
議長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>久喜市では、複線型授業であるとか、個別最適な学びを進めているところですが、子どもたちが主体的に学べる何か工夫みたいなものというのはございま</p>

	<p>したか。</p>
社会部会長	<p>まず、どの教科書も、ほぼ1番最初に課題が設定されており、最後にまとめをするという流れになっています。また、課題設定からまとめの中で、各問いが教科書にも散りばめられており、それを順に丁寧に追っていくこと、教科書をそれぞれ丁寧に追っていくことで、複線的な学びの実現につながるよう、各教科書工夫されておりました。</p>
議長	<p>いかがでしょう。 では、続きまして公民についてです。質問がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>現代的な諸課題に関する学習はどのように扱われていましたか。</p>
社会部会長	<p>各社とも現行の指導要領で例示されているような、将来につながる現代的な諸課題が取り上げられています。例えば、どの会社の取り扱っているものとして、1つ目、持続可能な社会の形成に受けた持続可能な開発目標、SDGsの取り組み、それから、情報化等による産業構造の変化やその中の企業の課題、最後に、様々な教訓を残し、社会の変革をもたらした歴史上の災害について学び、防災や減災への意識向上、これらのところが共通で挙げられており、現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度の育成を目指している工夫がされていました。</p>
議長	<p>他にいかがでしょうか。 私からします。探究的な学びの推進に向けて、授業の中で取り入れていく上で、教科書の工夫というところでは、どういったところが挙げられますでしょうか。</p>
社会部会長	<p>各社とも課題設定が、基礎的なものから発展的なものまでとなっています。基礎的な課題を解決してくと、自然と、発展的な学習、探究的な学習に、より繋がるような構成になっていて、教科書によってはそれが構造化されているような工夫もされているところもありました。</p>
議長	<p>他にございますでしょうか。 続きまして、最後に地図についてです。質問がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>社会の時間だけではなくて、普段からちょっと使ってみようかなというようなときに、使いやすさではどのような工夫がありますでしょうか。</p>
社会部会長	<p>他のところで活用できるかどうかということでよろしいでしょうか。 地図の活用については、地図やグラフ、それから写真等の活用方法を解説するコーナー、資料解説コーナーが両方の会社に位置付けられているため、生徒が自ら活用する力を育成するための記述がされています。 加えて、例えば修学旅行と関連付けるコーナーであったりとか、そういったところで、生徒が主体的に調べた内容を実際に目で見て感じ、実感を伴った地図となるような工夫が両社ともされておりました。</p>
議長	<p>他にございますか。 ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。 それでは採点用紙に記入及び採点フォームの入力をお願いいたします。</p>

<p>議長</p>	<p>では次に数学です。          専門部会長の入室をお願いします。          それでは説明をお願いします。</p>
<p>数学部会長</p>	<p>中学校数学の研究結果の報告を始めさせていただきます。報告の仕方といたしましては、数学は7社ございますので、各社ごとに報告資料の「内容（知識及び技能が習得される工夫が①、思考力、判断力、表現力が②、学びに向かう力が③、数学的な活動を通してが④）、資料⑤、標記・表現が⑥」の順番で説明をいたします。</p> <p>それでは初めに東京書籍についてです。</p> <p>①必ず身に付けてほしい基本問題に「♡マーク」などを示すことで、基礎・基本を身に付けること、また、「ちょっと確認」などホジュン問題で、習熟が図れるような構成となっております。</p> <p>②働かせてほしい数学的な見方・考え方が「Q 考えてみよう」や「学びをふり返ろう」、「深い学び」で示されております。</p> <p>③「数学の窓」「章末」では、社会や仕事につながり、学習した数学の有用性を実感できるように工夫されております。</p> <p>④発問「Q」で、自分の考えを整理したり、他者と考えを説明し合う対話シートとともに、「学びを振り返ろう」等では、数学的な見方・考え方のよさが分かる工夫がされております。</p> <p>⑤デジタルコンテンツでは、生徒が試行錯誤できるシミュレーション等があり、工夫されております。</p> <p>⑥新しい用語はゴシック太字でルビが降られており、また、インデックスが工夫されて視認性を高めております。</p> <p>次に、大日本図書です。</p> <p>①章の学習内容を「活動」「例」「例題」「Q」で身に付け、「プラスワン」で補充できる構成になっております。また、これまで学んだことを貸して調べたり考えたりする学習活動になる工夫がされております。</p> <p>②「数学の世界へようこそ」では、問題発見、問題解決の流れなど、具体的な数学的な見方・考え方が示されております。また、「判断しよう」「伝えよう」等で数学的に考察する活動等が工夫されております。</p> <p>③「導入」「課題学習」などでは、興味・関心を引き出す工夫や、日常生活や社会、他教科と関連付けたりして、数学の有用性を実感しやすい工夫がされております。</p> <p>④「数学の世界へようこそ」で問題発見・問題解決の流れを示し、自ら問題を見出し、解決方法を考えるなど、主観的で深い学びへの工夫がされております。</p> <p>⑤デジタルコンテンツ、また、SDGs と関連された内容の工夫がされております。</p> <p>⑥「学習のめあて」などはゴシック太文字で示され、読みやすくなるように工夫されております。</p> <p>次に学校図書です。</p> <p>①「計算力を高めよう」及び典型的な誤答「正しいかな？」等で、基礎・基本の定着を図れるよう工夫されております。「たしかめよう」では、参照ページが示され、振り返りができるよう工夫されております。</p> <p>②「Q」で「数学的な見方・考え方が示されており、問題を見出せるように工夫されております。「どんなことがわかったかな」「見方・考え方をまとめよう」では、働かせたい数学的な見方・考え方を教科書の問題と関連付けております。</p> <p>③興味・関心を引き出すための身近な題材が扱われており、「できるようになったこと」で自分を評価し、「さらに学んでみたいこと」で自分の考えを記入できるよう工夫されております。</p>



④章全体が、疑問を考える工夫や問題解決的な学習を通して、他者との話し合い及び主体的に数学的活動へつながる工夫がされております。

⑤デジタルコンテンツ、また、「活用」「深めよう」では、持続可能な社会を見据えた問題が取り上げられており、また、キャラクターたちが解決したい疑問などを考えやすいように工夫されております。

⑥単元の初めに、学習につながる課題が見開き1ページで示されており、ゴシック、ルビ、インデックスの色等で視認性を高めております。

次に教育出版です。

①「章を学習する前に」等を設け、「たしかめよう」で基礎・基本を身に付けられるように工夫されております。「基本の問題」「補充問題」では、参照ページが示されており、振り返りしやすくなっておりました。

②登場するキャラクターの吹き出し及び「大切にしたい数学的な見方・考え方」では、働かせたい数学的な見方・考え方が示されております。

③「数学の広場」「数学のしごと人」では、発展的な内容や数学の歴史、社会で数学を活用している職業などを紹介し、数学への興味・関心をもたせる工夫がされております。

④「みんなで数学をはじめよう」「学びのプロセス」で算数・数学の問題発見・解決の過程を示すことで、主体的・対話的で、深い学びを意識した構成になっております。

⑤「数学のしごと人」で社会のつながりを見据えた資料が工夫されております。

⑥新しい用語はゴシック太文字、ルビがふられております。

次に啓林館です。

①「学びをたしかめよう」では、基礎的・基本的な問題を取り上げておりました。本文には参照ページが示され、振り返りができるように工夫されております。

②「たいせつな考え方」には色下線で示し、「学びをいかそう」では、数学的な見方・考え方を働かせ思考させる問題が設定されております。

③「数学ライブラリー」では、社会で数学を活用している場面など、数学への興味・関心が高まる工夫がされております。

④「問題の設定、解決、解決の過程を振り返って改善、新たな問題設定」といった数学的な問題発見・解決の過程を意識する工夫がされており、「○章のあしあと」では、身についた資質・能力を確認し、さらに学びたいことに目を向ける工夫がありました。

⑤「災害から身を守ろう」等持続可能な社会を見据えた資料を取り上げております。

⑥インクルーシブ教育に配慮した色遣いで識別がしやすくなっておりました。

次は数研出版です。

①「Q」「TRY」「例」「問」「練習問題」「ふりかえり」を通して、基礎・基本を身に付けられるように工夫されております。

②「数学的な見方・考え方」や「考えよう」「まなんだことを活用しよう」などでは、数学的な見方・考え方を働かせ思考する工夫がされております。

③身の周りの題材を扱うことで、興味・関心をもって学習に取り組めるよう工夫されております。

④キャラクターが対話を通して学習内容の理解を深めていく姿が見えることで、問題解決のプロセス部分に焦点が当たるように工夫されております。

⑤持続可能な社会を見据えた資料を取り上げ、SDGs ロゴがついております。

⑥活動を通して解決する課題を「TRY」などで示され、ルビが振られておりました。

最後に日本文教出版です。

①「次の章を学習する前に」「まちがしやすい問題」などで、基礎・基本の

	<p>定着を促しております。</p> <p>②「考えよう」「話し合おう」「深めよう」「説明できるかな？」では、数学的な見方・考え方を働かせて思考したり、協働的な学びの工夫がされたりしております。</p> <p>③「ふりかえりシート」を活用して学びを深められる工夫がされており、また、「数学のたんけん」では、学ぶ動機づけの工夫がされており。</p> <p>④「ふり返しシート」などをノートに貼ることができ、まとめやすい工夫がされており。</p> <p>⑤「SDGs と数学」や「数学を仕事に生かす」などで、社会と数学のつながりや教科横断的な内容が工夫されており。</p> <p>⑥QR コードに「見る」「身につける」「調べる」「ためす」「図形のまとめ」等が記載されており。</p> <p>以上で数学部会の報告を終わりにいたします。</p>
議長	では、質問がありましたらお願いします。
委員	小学校と中学校の学びの接続について、どのような工夫がされているか教えていただけますか。
数学部会長	各社ともに、領域の系統と小中の関連が図られており、小学校の算数の内容を復習できるようになっております。例えば、学図では、第1学年の各領域の初めに、小学校の算数を振り返るものが、本文中の振り返りの説明や QR コードにより算数の内容を確認できるようになっております。他の会社も工夫されており。
委員	個に応じた学習を進めるにあたって、基礎学力の定着とか、あるいは多少発展的な内容など、そのような幅広い学習者に対する配慮みたいな部分を教えていただきたいと思います。
数学部会長	<p>まず、基礎学力の定着というところで、知識、技能の確実な習得を図れるのに十分な練習問題の量が各社ともに確保されており。また、単元の初めには、新しい学習内容がスムーズに理解できるように、既習である基礎的、基本的な内容を確認する場面が、各社ともに設けられて、工夫されておりました。</p> <p>また、発展的な問題というところで、巻末に補充的、発展的な問題と解説が設けられており、家庭学習や自主学習の補助となるようになっておりました。</p>
議長	よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。
委員	1人1台タブレットを活用して、ICT を活用した学びの工夫はありましたか。
数学部会長	<p>各社ともに、ICT を活用した学びの充実が図られておりました。とてもたくさんデジタルコンテンツが用意されており、その内容として、解説の動画、具体的な操作ができるシミュレーション、また練習問題やヒント解説などが提供されており。</p> <p>自分も試してみたのですが、デジタルコンテンツは QR コードが読み取ることができるので、とても手軽に利用できるようになっております。</p>
議長	<p>よろしいでしょうか。ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p>

	<p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームの入力をお願いいたします。</p> <p>ここで10分間の休憩に入ります。14時35分からといたします。よろしくをお願いします。</p>
議長	<p>それでは、再開いたします。</p> <p>続いて、理科です。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p>
理科部会長	<p>中学校理科です。各社内容、資料、表記・表現、総括の順で報告いたします。</p> <p>東京書籍「新しい科学」です。</p> <p>内容では、「科学的に探究する学習活動の充実を図る工夫」として、「流れに沿ってじっくり探究」のページが示されていて、探究的な展開を基本とした構成になっています。「問題発見」や「構想」が配置されていて「科学的な見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察・実験ができるように工夫されています。</p> <p>また、「思考力、判断力、表現力等の育成の工夫」として、「結果の見方」と「考察のポイント」で結果・考察の視点を示しています。「課題に対する結論を表現しよう」では、自分の言葉でまとめることで思考力、表現力を育成する場面を示しています。</p> <p>資料では、「社会につながる科学」「まちなか科学」で学ぶ意義や有用性を伝えています。また、動画による内容解説や練習ドリル、WEBサイトを活用したDマークコンテンツがあります。</p> <p>表記・表現では、本文などにはUDフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体を使用しています。重要語句には振り仮名を付け、式は単位を付けて下地の色を変えて表記しています。</p> <p>総括として、巻頭での探究の流れや教科書の使い方の説明、指導時期や内容の系統性を踏まえた単元配列、単元末の「学習内容の整理」「確かめと応用」、巻末の「自由研究」「基礎操作」、自分で組み立てる地学単元のペーパーラフト等の資料の充実があげられます。</p> <p>大日本図書「理科の世界」です。</p> <p>内容では、「科学的に探究する学習活動の充実を図る工夫」として、「問題を見つけよう」から「振り返ろう」まで探求の過程に沿った学習を意識的に進められるようにマークで示され、色分けされています。</p> <p>「日常生活や他教科等の関連を図る工夫」として、「くらしの中の理科」で日常生活や社会との関わりを紹介しています。国語、算数・数学、美術、保健体育、技術・家庭、英語で学習した内容について「つながる」とマークを付け、教科間の関連を図っています。</p> <p>資料では、「くらしの中の科学」「Science Press」「Professional」で学ぶ意義や有用性を伝えています。また、「動画による内容説明や補助説明、WEBサイトを活用したデジタルコンテンツがあります。</p> <p>表記・表現では、本文などにはUDフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体を使用しています。また、全領域で問題や実験などの色を統一して表示しています。</p> <p>総括として、巻頭での学習の進め方や教科書の使い方の説明、小学校との関連や観察・実験の時期、理科室使用の重なりに配慮した単元配列、単元末の「まとめ」「読解力問題」、巻末の「自由研究」「基本操作」、3年間の復習問題等の資料の充実があげられます。</p> <p>学校図書「中学校科学」です。</p> <p>内容では、「科学的に探究する学習活動の充実を図る工夫」として、探究の過程をマークで示し、マークを矢印でつなげ、探究的な展開を構成していま</p>

す。

また、「思考力、判断力、表現力等の育成の工夫」として、「結果の見方・考え方」「考察の見方・考え方」で結果・考察の視点を示しています。「探究を深める理路整然」では、探究の進め方や方法を示していて、探究の結果と考察では話し合いのポイントとなる問もあります。

資料では、巻末に掲載されている補助資料では、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫をしています。また、QRコードを活用したデジタルコンテンツ資料もあります。

表記・表現では、本文などにはUDフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体を使用しています。重要語句には振り仮名を付け、式は単位を付けて下地の色を変えて表記しています。

総括として、巻頭での探究の過程や教科書の使い方の説明、指導時期や内容の系統性を踏まえた単元配列、単元末の「学びの深め方」「読解力問題」、巻末の「実験器具の操作」、学習内容に応じた「資料」、「思考を深める」などの資料の充実があげられます。

教育出版「自然の探究 中学理科」です。

内容では、「知識及び技能の習得の工夫」として、章末や単元末での重要語句や基本事項の確認、観察・実験の近くの「基礎技能」で、知識・技能の習得の場面を示しています。

また、「学びに向かう力、人間性等を涵養する工夫」として、巻頭で探究の進め方を示し、学習の流れを説明しています。「やってみよう」「チャレンジ」で主体的に学習する工夫、「ハローサイエンス」で環境問題に関心をもつ工夫をしています。

資料では、「ハローサイエンス」で学ぶ意義や有用性を伝えています。また、動画による補足説明や、科学に関する情報を示した、QRコードによるデジタルコンテンツ、まなびリンクがあります。

表記・表現では、本文などにはUDフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体を使用しています。重要語句には振り仮名を付け、式は単位を付けて下地の色を変えて表記しています。

総括として、巻頭での理科を学ぶ意義や探究の進め方の説明、指導時期や学習内容のつながりを考慮した単元配列、単元末の「要点と重要用語の整理」「基本問題」、巻末の「学年末総合問題」「基礎技能」等の掲載があります。「理科で使う算数・数学」では算数・数学との連携が図られています。

啓林館「未来へひろがるサイエンス」です。

内容では、「知識及び技能の習得の工夫」として、章末や単元末での重要語句や基本事項の確認、「観察・実験のスキル」やQRコンテンツの動画で、知識・技能の習得の場面を示しています。

また、「日常生活や他教科等の関連を図る工夫」として、「科学コラム」で日常生活や社会との関わりを紹介しています。他教科で学習した内容について「〇〇と関連」とマークを付け、教科間の関連を図っています。

資料では、科学と部活、職業、食生活、自然との関連を示した「科学コラム」で学ぶ意義や有用性を伝えています。また、動画による内容説明、既習内容や学習内容の確認を示したQRコードによるデジタルコンテンツがあります。

表記・表現では、本文などにはUDフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体を使用しています。重要語句には振り仮名を付け、式は単位を付けて下地の色を変えて表記しています。

総括として、巻頭での探究の過程や教科書の使い方の説明、同一学年内での指導順序の入れ替えが自由に行える単元配列、単元末の「学習のまとめ」「力だめし」「みんなで探Qクラブ」、巻末の「学年末総合問題」「サイエンス資料」「探Qシート」等の資料の充実があげられます。

以上で、理科の報告を終わりにします。

<p>議長</p> <p>委員</p> <p>理科部会長</p> <p>議長</p>	<p>では、質問がありましたらお願いします。</p> <p>生徒が理科離れや理科嫌いにならないようにするための工夫などがありましたら教えてください。</p> <p>理科の授業中で、学ぶことが面白い、楽しいと感じるような問題解決的な学習を取り入れた授業を実際に行っていくことが大切です。どの教科書にも、課題把握から課題解決までの学習の流れを探究的に学ぶことによって、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、学習課題を考えるポイントを分かりやすく示したり、探究の過程をマークで示したりと、科学的に探究する学習活動の授業が図られるための構成となっています。</p> <p>他にございますか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームの入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>外国語部会長</p>	<p>次に外国語です。 専門部会長の入室をお願いします。 それでは説明をお願いします。</p> <p>外国語の報告をします。各社ごとに発表いたします。 始めに、「東京書籍 NEW HORIZON」でございます。 第1に、内容につきましては、各単元は、扉「Part」「Read and Think」「Unit Activity」で構成されています。「Part」の中にあるActivityでは自己表現につながる場面が設定されています。 「Unit Activity」では、スモールステップを踏みながらUnitのテーマに応じた活動に取り組めるようになっていきます。また、単元3～4つごとに、統合的な言語活動となる「Stage Activity」や「Stage Activity Plus」が設けられています。その内容は、5領域すなわち「聞く、読む、話す（やりとり）、話す（発表）、書く」を統合的に学習できるものとなっています。 「Read and Think」には、視点を変えて読むための「Round」問題があり、段階的にまとまりのある英文の内容を考えられるようになっていきます。その内容は、題材について自分の意見や内容の続きについて考え、表現する活動となっています。また、実生活に即した内容を扱う「Real Life English」が1年に6～7回あり、4技能を統合的に育成できるようになっています。 「Grammar for Communication」は、既習事項との比較から入り、コミュニケーションへとつないでいきます。デジタルコンテンツに関しましては、速度変化、マイク機能、役割読みなどの機能があり、内容が充実しているため「個別最適な学び」に活用できます。 第2に、資料につきましては、巻末にある「Small Talk」では、表現リストがあり、それを使って会話を発展させる工夫がされています。帯活動で毎時間活用できるものとなっています。 第3に、表記につきましては、1年生がUDフォント、2年生からは活字体になります。 以上が、東京書籍でございます。 次に、「開隆堂 Sunshine」でございます。 第1に、内容につきましては、単元は4つの段階を追って目標に迫れるよう構成されております。 1「Scenes」では、マンガ形式の短い会話や新出表現を使う場面や状況の確</p>

認を行い、隣のページの「Listen」「Speak & Write」で聞く活動から、話したり、書いたりする活動へとスムーズに移行できるようになっています。

2 「Part1～3」では、まとまった英文を読みます。各パートには Q&A があり、本文をより深く読み取る思考力をつける工夫がされています。

3 「Review & Retell」は本文を再現したり自分の言葉で要約したりするための即興の表現力を高める段階です。Step1 で登場人物のセリフを再現する、Step2 ではそれをつなげて他の文にし、Step3 でさらに自分の考えを足す、というスモールステップで Retelling につなげることができます。

4 「Action」では題材に関連したテーマで行う自己表現活動が設けられています。1年に2～3回ある「Our Project」では、マッピングやスピーチの構成、簡単な表現への言い換えといった技能を事前に学習して、5領域を統合的に扱うコミュニケーション活動へとつながっております。

デジタルコンテンツに関しては、「単語学習アプリ」を活用して、学習者が自分のペースで単語学習を行うことができます。「録音機能」もあり「モデル Reading」と比べることができます。

第2に、資料につきましては、「Word Web」があり、表現活動に活用できる語彙や表現がジャンル分けされて掲載されています。また、「Quick Q-A」や「Small Talk 表現集」も話す活動で活用できます。

第3に、表記につきましては、1年生前半は UD フォント、後半からブロック体、2年生からはブロック体と Century の字体です。

以上が、開隆堂でございます。

次に、「三省堂 NEW CROWN」でございます。

第1に、内容につきましては、単元は、扉「Part1～3」に分かれています。それぞれの Part は、Scene 1 と 2 に分かれています。Scene1 では、基礎的な知識・技能を取得し、Scene2 では、本文を読み取る力を育成する段階です。

各 Part にある「Small Talk」では、トピックを使ってペアで会話を膨らませることができます。さらに「Small Talk Plus」では、「会話を継続するためのコツ」が学べます。また、話題を変えて活動することができます。「Goal Activity」での Output では、スモールステップで進んでいける「Step」が設定されています。5領域の統合的な活動を行い、思考力、判断力、表現力を高めることができるようになっています。多様な題材が整備され、生徒の知的好奇心をゆさぶる工夫がされております。

「For Self-study」では、自主的に学べる工夫がなされています。デジタルコンテンツに関しては、「りな先生の解説動画」があり主体的な学習に役立ちます。また、「発音チェック機能」があり、AI が音読を3段階で評価してくれます。

「英和辞書機能」では、例文の紹介、発音の確認ができます。このようにコンテンツが大変充実しています。

第2に、資料につきましては、巻末にある「Tips for Small Talk」では、表現の仕方のコツを学ぶことができるため、会話を広げたり、深めたりできるようになります。「いろいろな単語」のページでは、カテゴリ別の単語リストなど自主学习しやすい資料が豊富にあり、主体的な学習の促進につながっていきます。

第3に、表記に関しては、1年生は UD フォント、2年生からは活字体が使われています。

以上が三省堂でございます。

次に、「教育出版 ONE WORLD」でございます。

第1に、内容につきましては、単元は扉「Part 1～3」「Task」「Grammar」「Tips」で構成されています。各単元の中の「Task」では、本文の内容を要約する穴埋め形式となっており、内容理解を深める工夫がされています。スモールステップでできるようにヒントが豊富に用意されています。そして、自分の考えを伝え合ったりする活動が設定されています。

「Tips」では、聞いた内容や読んだ内容をまとめるなどして4技能5領域を

バランスよく育成できて、思考力、判断力、表現力を高める構成になっています。さらに5領域それぞれの技能を高めるコツが紹介されています。本文の内容に関しましては、SDGsの内容が多いのが特徴です。

また、帯活動などで活用できる「Activities Plus」では、Word Bankを用いて会話を膨らませることができる工夫がされています。ペアワークなどを通して、「話すこと」「やりとり」を取り入れる機会を豊富に設けることができるようになっています。年に3回程度の「Project」においては、目標に向かってスモールで4技能をバランスよく学べるように工夫されています。デジタルコンテンツに関しましては、「動画」「ワークシート教材」「録音機能」など機能が豊富です。

第2に、資料につきましては、「Think & Try」では、やりとりの例は紹介されていて、コミュニケーション活動につなげることができます。また、「Can-Do自己チェックリスト」が活用しやすいものとなっています。

第3に、1年生がUDフォント、2年生からは活字体になります。

以上が、教育出版でございます。

次に、「光村図書 Here We go!」でございます。

第1に、内容につきましては、各単元は扉「Part 1～3」「Goal」で構成されています。この教科書の大きな特徴は、3年間ひと続きのストーリーとなっており一貫性があるところです。そのため登場人物のもつキャラクターを理解できて共感しやすくなっております。学習者は、3年間主人公と共に成長していく感覚をもつことができます。

「Extra story」では、QRコードで読み取ることで内容を深めることができるようになっていて、「個別最適な学び」のツールとして使えます。

「Active Grammar」では、文法が分かりやすく説明されています。授業での帯活動として「Story Retelling」「Let's Talk」を継続的に行うことで、自分の言葉で話す力、即興のやりとりを続ける力をつけることができるようになっております。単元の合間にグループで行う「You can do it!」は5領域を統合した活動であり、課題を解決することを通して、思考力、判断力、表現力を高める構成になっております。デジタル教科書に関しましては、「フラッシュカード機能」「文法解説動画」「スピーキングモデル」や「スピーキングテスト」などがあります。

第2に、資料につきましては、巻末の「Active Words」はテーマ別になっており、学年が上がるにつれ難易度や語数も増えていきます。これが単元での活動と連携しやすいよう参照ページが書かれ、使用しやすくなっております。

「英語の学び方ガイド」では学び方や領域別の学びのコツをQ&A形式で知ることができるようになっております。また、「思考の地図」では論理的に学ぶことができます。

第3に、表記は、1年生が手書きフォントとゴシック体、2年生からは活字体になっています。

以上が、光村図書でございます。

最後に、「啓林館 BLUE SKY」でございます。

第1に、内容につきましては、全体的に「書く活動」が充実していて、英文の量が多いことが特徴です。各単元が文法ごとに「Part 1～3」に分かれ、それぞれペアワークや会話などの言語活動で新出表現を使用するようになっております。Partの後には、「Listen and Think」「Read and Think」「Think and Speak」「Think and Write」で構成されています。

「Read & Think」には、視点を変えて読むための「Step」問題があり、段階的にまとまりのある英文の内容理解ができるようになっています。実生活に即した題材を扱う「Let's Talk」「Let's Write」「Let's Read」「Let's Listen」があります。

「Let's Talk」は、リアルな場面を設定して即興的なやりとりができるようになっています。状況を自分たちで設定し、Tool Box内の表現を用いてスキットを作って話す活動につなげることにより、主体性、創造性を発揮できます。

<p>議長</p> <p>外国語部会長</p> <p>議長</p>	<p>「Let's Write」では、既習事項を用いて表現する活動を設定しており、思考力や表現力をつける構成になっております。「Project」では、モデル文を読んだり聞いたりした後に、シンキングツール（マッピング等）を使って自分の伝えたい内容を整理し発表活動につなげる、という流れになっています。</p> <p>デジタル教科書に関しては、新出文構造・文法（Target）の解説動画があり、復習や自主学習に活用できます。</p> <p>第2に、資料につきましては、巻末に「Unit の Listening Script」が掲載されています。「Word Box」は、絵があり分かりやすく充実しています。</p> <p>第3に、表記につきましては、1年生は UD フォント、2年生からは、Century Schoolbook の字体が使われています。</p> <p>以上が、啓林館でございます。</p> <p>質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>私からお願いいたします。デジタル教科書についてですが、特に個別最適な学びに至る手立てとしてのデジタル教科書の扱いの工夫では、どのようなところがありますか。</p> <p>まず1番は、文法の解説の動画が大変分かりやすいということ、それから字幕のオンオフが選べるということなど、またスピードの調整ができるなど、自主学習にも役立ち、個人のペースで進めることができます。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームの入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>音楽部会長</p>	<p>次に音楽です。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p> <p>それでは中学校音楽及び器楽の教科書について説明させていただきます。</p> <p>最初に、中学音楽 音楽のおくりもの（発行者名 教出・発行者番号17）、中学生の音楽（発行者名・教芸 発行者番号 27）について比較をしながら説明いたします。</p> <p>ともに中学校1年生の教科書をご覧ください。両社の目次について比較してみます。音楽のおくりもの P.6～9 中学生の音楽の目次をご覧ください。両社とも、目次のほかに学習内容について整理されています。</p> <p>音楽のおくりものでは「学習 MAP」としてさらに目次に付随して学習内容が整理されており、学習内容の関連度を示しております。学習内容ごとに教材が分類され学習の進め方が明記されています。</p> <p>中学生の音楽では、それぞれの教材ごとに、「形式」「構成」「音色」「リズム」などの共通事項を切り口に学習内容が整理され「学習内容」として学習指導要領にそった「思考力、判断力、表現力」「知識・技能」と教材の関連性を示しております。</p> <p>次に内容についての特色のある部分について「歌唱」「鑑賞」「創作」の教材を例に抜粋してご説明いたします。</p> <p>最初に「歌唱」共通歌唱教材について比較してみます。音楽のおくりもの1学年 P.18～21「夏の思い出」、中学生の音楽 2.3 学年上 P.20～23「夏の思い出」をご覧ください。</p> <p>音楽のおくりものでは、P.21 見開き右側に新出の記号が示され、見開き左側</p>



に〔比べてみよう〕を窓口に他の曲と対比しながら学習が進められるよう工夫されています。また、音楽を捉えて各教材が示され知識及び技能が習得されるようにするための工夫がごさいます。そして、P.19のQRコードでは画像と共に範唱が再生され楽曲をとらえることができるようになっています。

その他、歌うことに関して「Sing! Sing!」として見開きで6ページ分のページを取っています。

中学生の音楽では、曲名の下に題材の目標が示され、見開き左側に〔共通事項〕が示されています。そして、P.22.23では「学びのコンパス」として音楽表現を主体的に工夫する過程を重視した具体的な内容が取り上げられ、自他の敬愛や協力を重んずる態度が養われるよう配慮され、教科書に書き込みながら学習できるよう工夫されています。QRコードからは画像は資料として分けられ、ワークシートをダウンロードしてタブレット上で記入ができるようになっています。さらに範唱ではなく、パート別の音源や「カラピアノ」が用意されています。

次に、鑑賞のページについて御説明いたします。

音楽のおくりもの1学年P.44~47、中学生の音楽1学年P.42~45をご覧ください。鑑賞曲のページの特徴として、音楽のおくりものでは、鑑賞曲がQRコードから鑑賞できるようになっています。曲想と形式を軸に学習が進められております。P.47では「Active」としてQRコードでワークシートが準備されています。また、P.46には西洋音楽史と同時代の日本の歴史が分かるよう工夫されています。

中学生の音楽では、音楽のよさや美しさをとらえ曲想の変化を中心に学習が進められるようになっています。P.44下の部分では「+α」として同時代の日本の時代背景を記載する工夫がされています。「学びのコンパス」の記入欄で仲間との意見交換を通して、自他の敬愛や協力を重んずる態度が養われるよう配慮されています。QRコードからはそのワークシートもダウンロードできるほか、教科書には掲載されていない細かな資料を閲覧することができます。

次に、創作について御説明いたします。

音楽のおくりもの1学年P.38~41、中学生の音楽1学年P.20~21、P.38~39をご覧ください。

両社とも、音楽活動の基礎的な力を伸ばす工夫がされており、旋律創作、音楽づくりの2つの学びで構成されています。

音楽のおくりものでは、その2つの学びを連続したページで系統性をもたせています。QRコードではワークシートがダウンロードできます。

それに対し、中学生の音楽では、旋律創作は「My Melody♪」音楽づくりは「Let's Create!」とコーナーを分けた構成になっています。QRコードでは作例や創作ツールで学習が進められる工夫があります。

以上、音楽の教科書についてのご報告でした。

続きまして、中学校・器楽の教科書についてご説明いたします。

音楽のおくりものP.2.3目次、中学生の器楽P.6.7をご覧ください。

音楽のおくりものでは、楽器の配列の仕方が、管楽器としてリコーダー、篠笛、尺八、弦楽器としてギター、箏、三味線、そして打楽器、アンサンブル曲集と配列されており、洋楽器・和楽器を問わず配列する中でP.31.56「発展吹く楽器の仲間たち 弾く楽器の仲間たち」のように日本の楽器というくりでは無く、世界の楽器の中の一つとして扱っていることがわかります。

それに対し、中学生の器楽では、リコーダー、ギター、日本の楽器、そして打楽器、アンサンブル曲集と配列されています。これは音楽の教科書同様、両社の教科書編集の特徴と言えます。

それでは内容について特徴的な事項をご説明申し上げます。

まず、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫についてです。

音楽のおくりものでは、P.42「音のスケッチ」において、曲の構成を中心に学習を深め、実際に音を出し確かめながら、思考・判断が育成できるようになっています。

<p>議長</p> <p>委員</p> <p>音楽部会長</p> <p>委員</p> <p>音楽部会長</p>	<p>中学生の音楽では、P.55「学びのコンパス」において、曲の構成について学習を深めイラストの吹き出しで、思考判断につながる助言が示されています。その他、記載のとおりでございます。</p> <p>最後に総括ですが、音楽のおくりものでは、日本の楽器も世界の楽器も同じ楽器として各楽器に視点をあて、学習が進められるような工夫がされています。</p> <p>中学生の器楽では、リコーダーの学習が充実しており多くのページを配分するとともに、ギターなど身近な楽器を配列するなど、身近に自らが思考力、判断力、表現力を育成するために、必要な QR コードをふんだんに使い学習を系統的に深める内容となっています。</p> <p>以上、中学校音楽及び器楽の教科書についてご説明させていただきました。</p> <p>では、質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>丁寧に説明ありがとうございました。現行の教科書と比較して、何か大きく変わったと思われる点があれば教えてください。</p> <p>音楽、器楽どちらでしょう。</p> <p>どちらも。</p> <p>器楽の方で言えば、教材の配列が、教芸の教科書は、現行はアンサンブル曲集が頭に来ていたのですけれども、それが巻頭ではなくなったというところは大きく変わっています。</p> <p>あと、現行と比べて、またその前からお互いの教科書の良さをお互いの教科書会社が学習しているのかなというところで、かなりいろいろな部分が近づいてきているのかなという印象を受けております。</p> <p>議長</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームの入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>美術部会長</p>	<p>次に美術です。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p> <p>美術部会から報告いたします。</p> <p>はじめに、「9 開隆堂」について報告いたします。</p> <p>「内容」についてです。</p> <p>「知識及び技能の習得」では、題材ごとに学習を通して学ぶ内容を、図版で示したり、「美術の用語」を別枠で提示したりするなど、分かりやすく提示されています。また、参考写真と制作の手順が記されていることや、巻末の「学びの資料」により幅広い知識と技能が系統的に整理されて多様な題材の学習に対応できるように工夫がされています。</p> <p>「思考力、判断力、表現力等の育成」では、各題材に、「学習の目標」を示すとともに、「発想や構想に関する目標」や発想・構想の方法、学習の進め方のヒントをマークで示しています。また、掲載作品とあわせて「作者の言葉」や「アイデアスケッチ」を取り上げ、作品の発想・構想を学ぶことができる工夫が見られます。</p> <p>「学びに向かう力の育成」では、各学年と中学校美術科の学習をふり返し、自らの人間としての成長を確認することができ、学ぶ意欲へつなぐ工夫が見ら</p>

れます。

「一人一人のよさや可能性をのぼす工夫」では、各題材の最初に提示する主文において、「造形的な見方・考え方」を働かせ、深い学びに繋がるものになるようにしています。

「資料」については、原寸大の作品や細部を拡大した図版の掲載、QRコードによる参考作品例や動画の視聴ができるようになっています。

「表記・表現」については、作品に「図番号」をつけ、授業内での使用が分かりやすくなる工夫や題材の最初に提示する主文が3文程度にまとめられ、一読してその意味が読み取れる文章量になっている工夫がされています。

つぎに、「38 光村」について報告いたします。

「内容」についてです。

「知識及び技能の習得」では、各題材に造形的な見方・考え方を働かせることを促す目標を設け、発達段階に応じて知識が深まるように工夫されています。また、巻末に共通事項や創造的スキル、美術史に関わる資料が、「学習を支える資料」として掲載されています。

「思考力、判断力、表現力等の育成」では、多くの生徒作品を掲載し、制作過程を「みんなの工夫」を題して紹介するとともに、「作者の発想・構想」というコラムも掲載され、発想・構想を広げる工夫がされています。

「学びに向かう力の育成」では、1年巻頭および2・3年巻頭巻末の詩人による文章や2・3年の「美術の力」などから、豊かな感性や思いやりを育み、美術の学びを人生や社会に生かすことができるように工夫がされています。

「一人一人のよさや可能性をのぼす工夫」では、「みんなの工夫」をはじめ、作者の思いや制作の意図を伝える「作者の言葉」が掲載されています。また、制作過程を詳しく示し、主体的な作品作りができる工夫がされています。

「資料」については、生徒作品が多く掲載されるとともに、鑑賞図版では、用紙の素材を変える工夫がされています。また、QRコードによる音声ナビ、指導者用デジタル教科書（教材）があり、授業づくりに役立つダウンロード資料が収録されています。

「表記・表現」については、各題材の冒頭に鑑賞作品を掲載し、表現と鑑賞を関連付けた一体的になるような学びになっています。また、他教科とのつながりをマークで示す工夫がされています。

つぎに、「116 日文」について報告いたします。

「内容」についてです。

「知識及び技能の習得」では、各題材に「造形的な視点」を設定し、掲載作品から感じたことを意識させ、制作と知識が結び付けられるような工夫がされています。また、QR動画で、すべての題材の導入に「学びのはじめに」を設置したり、生徒が創造的に表すことができるよう工夫がされています。

「思考力、判断力、表現力等の育成」では、題材ごとに「表現のヒント」が示すことで主題を生み出し、発想し構想を練ったり、見方や感じ方を深める工夫がされています。また、教科書後部に「学習を支える資料」の項目に「発想・構想の手立て」を掲載し、作家や生徒の発想や構想について紹介し、思考力、判断力、表現力を育成する工夫がされています。発想や構想と鑑賞の双方で働く「中心となる考え」を示し、鑑賞したことが発想・構想を練る時に生かされるよう工夫がされています。また、情景写真が掲載され、生徒が作品や友人の活動に対して、よさや美しさを感じ取ったり考えたりできる特徴が見られます。

「学びに向かう力の育成」では、表紙と一体化された巻頭において「美術との出会い」「学びの探求と未来」「学びの実感と深まり」という資料を掲載し、授業への意欲や、美術に対する意欲を引き出す工夫をしています。

「一人一人のよさや可能性をのぼす工夫」では、制作のプロセスが見えるアイデアスケッチや、作者の言葉などの発想・構想に活かせる資料を示すことにより、単なる知識や理論の学習に偏らないような工夫がされています。

「資料」については、アーティストの制作の過程を掲載したり、注意点を示

<p>議長</p> <p>委員</p> <p>美術部会長</p> <p>議長</p>	<p>したりすることで、制作過程や仕組みなどを理解できるように工夫しています。</p> <p>「表記・表現」については、すべての題材において、共通したマークや構成になっており、生徒の興味・関心・意欲を高めたり、学習内容の理解を深めたりするために工夫がされています。また、QRコードによるコンテンツが活用できるようになっています。</p> <p>以上で「美術部会」の報告を終わります。</p> <p>では、質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>調査にあたって1番重視した視点はどのようなところでしょうか。</p> <p>お答えいたします。視点は、1番最初は、子どもが見たときに、1番興味関心を引いて教科書を開くかどうかということに大変に視点を置いています。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームの入力をお願いします。</p> <p>ここで10分間の休憩といたします。再開を15時35分といたします。お願いいたします。</p>
<p>議長</p> <p>保健体育部会長</p>	<p>それでは再開いたします。</p> <p>次に保健体育です。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p> <p>中学校保健体育の研究調査を報告いたします。教科書は、「東京書籍」「大日本図書」「大修館書店」「学研」の4社です。</p> <p>まず、「東京書籍 新しい保健体育」です。</p> <p>「教科の目標との関わり」においては、学習指導要領に示されている目標に則り、学習内容が理解されやすいように紙面構成や口絵・資料が工夫されています。</p> <p>「知識・技能の習得」では、177ページからにありますように、巻末スキルブックに必要なスキルが、イラストや写真で説明されていたり、右上のQRコードから動画で確認したりして、知識や技能が習得しやすいように工夫されています。</p> <p>「思考力、判断力、表現力等」では、6ページにありますように、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」という項目があり、習得した知識を活用しながら課題の合理的な解決に向けて思考力等を育成することができるよう工夫されています。</p> <p>「学びに向かう力」では、各単元の「広げる」や、54ページにありますように、章末に「日常生活に生かそう」「SDGsについて考えよう」のQRコンテンツがある等、学びを生活や社会に生かす力が養われるように工夫されています。</p> <p>「生涯にわたり豊かなスポーツライフ」では、様々な形でスポーツに関わる姿が62ページから65ページの写真のように示され、生涯にわたってスポーツに親しむ楽しさなどが考えられるよう工夫されています。</p> <p>「資料」としては、「章末資料」「キーワード」「章末問題」「日常生活に生かそう」「SDGsについて考えよう」など、豊富な資料に触れることができ</p>

るよう工夫されています。

「表記・表現」は、14、15ページにありますよう挿絵や親しみやすいキャラクターを多く活用し、学習のヒントがわかりやすいものになっています。

「総括」として、各章のはじめに課題と学習のながれ、67ページにありますように、道徳科の各内容項目との関連、学習内容の小・中・高での系統性が明記されています。また、他教科との関連も92、93ページのように記載され、教科横断的な学習にも活用できます。

次に「大日本図書 中学校保健体育」です。

「教科の目標との関わり」は、学習指導要領に示されている学習すべき内容について、29ページのように章全体の目標を明確にし、30ページ右上のように、小単元の冒頭に本時で学習すべき課題を明示しています。

「知識技能の習得」では、各単元の最後に「キーワード」が示され、章末の「学習のまとめ」では「重要な言葉」やQRコードによる「まとめの問題」があり、自ら学習内容を振り返り、知識技能の確認ができるように工夫されています。

「思考力、判断力、表現力等」では、口絵15、16ページのように、「つかもう」「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」が設けられており、思考力等の育成とともに習得した知識を活用できるように工夫されています。

「学びに向かう力」では、50ページにありますように、「章末資料」で、他のページとのつながりが示されていたり、52ページにありますように、「学びを活かそう」で、身近な題材や生活について取り上げたりして、学んだことを発展できるように工夫されています。

「生涯にわたり豊かなスポーツライフ」では、運動やスポーツの技術と学び方がイラストを使って説明され、理解が深まるように工夫されています。

資料としては、口絵16下の方にありますQRコードを読み、「中学校保健体育WEB」というウェブサイトにてデジタルコンテンツが用意されており、動画やまとめテストを活用することができます。

「表記・表現」は、多様なマークにより学習者の理解を助けるように工夫されています。

「総括」として、学習内容の小・中・高での系統性が明記されていたり、1単位時間の内容が見開きで構成されていたりするなど、学びの道筋が明確になっています。また、32ページ下にありますように、他教科との関連も記載され、教科横断的な学習にも活用できます。

「大修館書店 最新 中学校保健体育」です。

「教科の目標との関わり」は、学習指導要領に示された目標に基づき、各章、各学習項目が、口絵9のように「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の3ステップで構成されています。

「知識技能の習得」では、33ページ上にあるように、「きょうの課題」が疑問形で示され、学習内容が具体的になっています。また、毎時間「キーワード」が示されたり、60,61ページのように、「章のまとめ」として問題が提示されていたりするなど、知識技能の習得を確認できるように工夫されています。

「思考力、判断力、表現力等」では、各単元の「学習のまとめ」、47ページ、49ページにありますように、多様な表現活動が設定されており、話し合いを通して表現力等が育成できるように工夫されています。

「学びに向かう力」では、章の扉で中学生の日常生活の写真や抱く疑問等があげてあり、自分事として捉えられるように工夫されています。また、32ページ左側にありますように、他教科との関連も記載され、教科横断的な学習にも活用できます。

「生涯にわたり豊かなスポーツライフ」では、92、93ページにありますように、「コラム」「事例」や章末の、58、59ページにありますように、「特集資料」を通して、実生活での実践力を養う工夫がされています。

「資料」としては、3 ページ右上にありますように、「Web 保体情報館」「動画コンテンツ」「Web ワークシート」「保体クイズにトライ！」等があり、デジタル教材が豊富に用意されています。

「表記・表現」は、単語や文末に補足説明や関連資料へのリンクを示すように工夫されています。

「総括」として、豊富な写真資料や図表を用いレイアウトが見やすい構成となっています。また、学習内容の小・中・高での系統性が明記されていたり、デジタルコンテンツが充実したりしています。

「学研 中学保健体育」です。

「教科の目標との関わり」は、学習指導要領に示された目標、内容の取扱いに基づき、学習内容を中学生の身近な問題として取り組むことができるように取り上げています。

「知識技能の習得」では、毎時間「課題の発見」「学習の課題」「課題の解決」「学びの活用」により構成されており、見通しをもって学習できるように工夫されています。

「思考力、判断力、表現力等」では、46、47 ページのように、毎時間「エクササイズ」「学びを生かす」で、正解がひとつに絞れない課題により、話し合い活動を促し、思考力等を育成できるように工夫されています。

「学びに向かう力」では、65 ページにありますように、「もっと広げる深める」、66、67 ページにありますように、「探究しようよ！」により、興味・関心に応じて学習を深めることで学びに向かう力を育成できるように工夫されています。

また、ページの右下に、「とりくメーター」があり、自己の学びを自己評価できるように工夫されています。

「生涯にわたり豊かなスポーツライフ」では、ページの下にあるように、「情報サプリー」の題材が健康増進や豊かなスポーツライフを実現するための資質、能力の育成につながるように工夫されています。

「資料」としては各章末に補足資料や学習を生活に生かせる、68、69 ページにありますように、「章のまとめ」があります。毎時間QRコードがあり、「学研教科書サイト」からコンテンツが得られます。

「表記・表現」は、大きく見やすい文字や色以外で判別できるグラフにしたり、色数を減らし目に優しい紙面にしたり、ユニバーサルデザインに基づいた工夫がされています。

「総括」として、各章の扉に「この章で学習すること」として、課題と学習のながれが示され、学習内容の小・中・高での系統性が明記されています。見開きページ、44 ページ左下に見ていただいたとおり JOB マークが示され、学習内容に関係する職業や資格が紹介されていることで、キャリア教育との関連が図られています。

以上で中学校保健体育教科書調査報告を終わります。

議長

では、質問がありましたらお願いいたします。

委員

調査にあたって1番重視した点は何か、教えてください。

保健体育部会長

知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の育成、健康、安全についての理解、生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力の育成、以上5点に向けて、どのような工夫がされているかを重視し、調査研究を行ってまいりました。

議長

ありがとうございます。他にございますか。

ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。

	<p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームの入力をお願いします。</p>
議長	<p>次は技術分野です。 専門部会長の入室をお願いします。 それでは説明をお願いします。</p>
技術部会長	<p>中学校技術・家庭科（技術分野）の研究調査結果を報告します。 最初に、「東京書籍」です。 「内容の特色」は、「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」の視点からは、基礎的な技術の仕組みについて、本文の内容の根拠となるイラストや写真がきちんと網羅され、科学的な思考に基づく知識が習得できるように工夫されています。 また課題解決に必要な技能については、「TECH Lab」にまとめられ必要に応じて適切に選択できるよう工夫されています。 「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」の視点からは、初めに基礎・基本的な知識の習得を行ったのち、「技術の問題解決の工夫」「問題の発見と課題の設定」という流れで学習内容が構成されており、第2章の最後には「問題解決の評価、改善・修正」が設定され、スムーズに自分の思考を深め、振り返る流れとなっています。 「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」の視点からは、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するために、「技術のめがね」「最適化の窓」という欄が設けられています。 「技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫」の視点からは、各内容の第3章の中で、「技術の光と影」について示しながら、社会・環境を題材として取り上げ、社会、経済、環境面での視点で、持続可能な社会づくりのために何ができるか自然に考えられるように工夫されています。 「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫」の視点からは、どのような影響を与えていくのかを考えたり、調べたりできるよう工夫されています。 「資料の特色」は、身近な例を多く採用し、学習内容が生活の中に生かされていることに気づくことができる工夫がされています。また、学習内容にリンクしたデジタルコンテンツが豊富で、学びの進度に応じて生徒が自ら学べる環境となっています。 「表記・表現の特色」は、ユニバーサルデザインフォントの採用と、色覚に対する配慮がなされ、個別の特性に合わせて学習に取り組める表記となっています。 「総括」として、各内容は、「理解する」「問題解決に取り組む」「つなげる、広げる」のまとまりで構成され、学習の流れが掴みやすくなっています。 次に、「教育図書」です。 「内容の特色」は、「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」の視点からは、各内容とも、基礎・基本となる知識・技能を第1章で習得できるよう構成されています。第2章の「プチ問題解決にチャレンジ！」において、基礎技能を身につけるとともに、問題解決の流れについても理解できるよう工夫されています。別冊「スキルアシスト」により、技能の確実な定着と安全に作業を行えるよう工夫されています。 「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」の支援からは、各内容において、第1章で基礎・基本的な知識と技能の工夫について学び、問題解決の進め方を学習するよう構成されています。章末には「学んだことをまとめよ</p>

う」が設定され、自己の学びの振り返り、何が身についたか確認できる工夫がされています。

「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」の視点からは、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するために、「未来をつくろう」、「やってみよう」という欄が設けられています。

「技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫」の視点からは、各内容の第3章で、「技術のプラス面とマイナス面」が示され、光と影の部分のバランスを整え「技術の誠実ないかしかた」を考えさせる工夫がされています。

「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ切実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫」の視点からは、各最終章で、持続可能な社会の実現に向け、技術の見方・考え方を働かせ、技術を多面的に評価し、「技術の誠実ないかしかた」を考えられるよう工夫がされています。

「資料の地区色」は、生徒自身の設計や計画を記入できる「設計・計画シート」が用意されています。また、「技ビト」「スゴ技」が掲載され、生徒の勤労観・職業観を育成する工夫や、QRコードから利用可能なコンテンツ等が充実しています。

「表記・表現の特色」は、書体は、ユニバーサルデザインフォントが使用され、色覚に関する校閲も受けるなど、この特性に関係なく、読み取りに困難さを感じないように工夫されています。

「総括」として、各内容が「技術を見つめよう」「技術を生かそう」「未来をつくろう」のまとまりで構成され、学習の流れが掴みやすくなっています。

最後に、「開隆堂」です。

「内容の特色」は、「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」の視点からは、基礎的・異本的な知識・技能の習得に向け、各内容の1章において基礎・基本的な知識に触れている。技能の習得については、内容A2章2、3に「政策のための技能」として資料がまとめて掲載され、作業のポイント等も細かく表示するなどの工夫がされています。

「思考力、判断力、表現力等を工夫するための工夫」の視点からは、各内容において、1章で基礎的な知識をおさえ、2章で「問題解決の流れ」を理解する構成となっています。技術の学習で行う問題解決の流れが見開きで表記され、イラストを交え分かりやすく、「(問題の発見と課題の設定)、(構想と設計・計画)、(製作・制作・育成)、(成果の評価と改善)」と統一して示されています。

「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」の視点からは、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するために、「学習を振り返ろう」、「私たちの未来」という欄が設けられています。

「技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫」の視点からは、各内容の「私たちの未来」では、可能性(光の部分)と課題(影の部分)が示されており、今後の技術の活用について考えさせるよう工夫されています。

「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫」の視点からは、各内容の第3章で、学習の振り返り、技術の見方・考えかを働かせて、社会とのつながりについて考え、評価・適切な活用を通して、持続可能な社会の構築について考える工夫がされています。

「資料の地区色」は、技能の習得や理解を深めるためのコンテンツ等にリンクするQRコードやイラスト・画像が豊富に備え付けてあります。

「表記・表現の特色」は、書体は、1字ずつか認識されやすいUDフォントが使用され、ポイントとなる重要語句・図や参考には、ゴシック体で太字にし、見分けやすくなるよう工夫されています。カラーユニバーサルデザインに関して、専門機関の校閲を受け、人によって受ける情報に差が出ないように配慮



<p>議長</p> <p>委員</p> <p>技術部会長</p> <p>委員</p> <p>技術部会長</p> <p>議長</p>	<p>されています。</p> <p>「総括」として、各内容は、「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」の3部構成になっていて、学習の流れが掴みやすくなっています。</p> <p>以上、技術・家庭科（技術分野）の研究調査結果報告を終わります。</p> <p>それでは、質問がありましたらお願いいたします</p> <p>基本的な作業や動作を確実に習得するための工夫はどのような記載が見られますでしょうか。</p> <p>実技に関するコーナーを設け、基本的な技能や手順を分かりやすい写真、イラスト等で掲載し、視覚に訴え、確実に技能が身につけられるよう工夫されています。</p> <p>また、QR コードで動画視聴もでき、繰り返し視聴することで自分のペースに合わせて、より効果的に技能習得を図ることができるよう工夫されています。</p> <p>情報、プログラミングも含めての扱いで何か工夫などが見られたところがありますでしょうか。</p> <p>東京書籍につきましては、情報に詳しく、かなりの情報量が記載されていると感じております。また、高校の情報に繋がるような内容を取り扱っているところも見られたと感じています。</p> <p>他にございますか。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームの入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>家庭部会長</p>	<p>次は家庭分野です。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p> <p>それでは、中学校技術・家庭科、家庭分野における調査研究結果を申し上げます。</p> <p>3社ございますので、東京書籍、教育図書、開隆堂の順で申し上げます。なお、教科書目録に従い、東京書籍は「東書」、教育図書は「教図」と、省略いたします。</p> <p>まずは、「内容」について4つの観点から、ご説明いたします。</p> <p>1つ目の「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」についてでございます。</p> <p>「東書」は、146 ページにもございますように、題材ごとの学習内容を確認したり、深めたりする記述が豊富で、本文と同じページに、調理実習や、布を用いた製作に関わる、図や絵を分かりやすく掲載し、知識及び技能の習得を図っています。</p> <p>「教図」は、174 ページにございますように、多くの図や写真、イラスト、また、題材の初めに、学習のめあてとキーワードを並列して記載し、題材で身につける知識や技能を明示しています。</p> <p>「開隆堂」は、195 ページにございますように、内容のまとまりごとに、学習のまとめがあったり、実験の結果や多様なデータを根拠として、知識及び技</p>

能が分かりやすく記載されていたりします。

2つ目の「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」についてでございます。

「東書」は、138 ページにございますように、題材事に学習過程を提示し、学習内容を明確にしたり、思考・判断を促すような問いを多く取り入れていたりします。また、資料を写真と文章で説明し、齟齬なく活用できるようにしています。

「教図」は、174 ページ、学習過程を「見つめる」「学ぶ」「振り返る」で統一して設定することで、思考・判断・表現する力を育成できるようにしています。

また、「考える」「話し合う」場面を題材に応じて設定し、多面的に学べるようにしています。

「開隆堂」は、195 ページにございますように、学習の導入において、家庭生活での身近な疑問や気づきを提示し、学習の見通しをもてるようにしています。

また、調理実習の過程で、生徒に手順や方法を問いかけ、食品の調理上の性質や安全な調理方法について考え、判断できるようにしています。

3つ目の「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」についてでございます。

「東書」は、116 ページにございますように、題材を通しての大きな目標と、学習内容を深めるための問いが、記載されており、学びがより深まるようにしています。

また、学習の区切りや題材のまとめで「〇〇しよう」と、具体的に生徒に問いかけ、家庭や地域での実践を促しています。

「教図」は、197 ページにございますように、学習内容を自らの言葉でまとめたり、自己評価をしたりすることで、自らの学びを振り返ることができるようにしています。

また、題材の末に「センパイに聞こう」という項目を設定し、学びを深め、生活に生かせるようにしています。

「開隆堂」は、193 ページ及び 231 ページにございますように、各題材のまとめでは、今後の生活に生かすことや、取り組むことを、記述する欄を、また題材の初めに「自分の興味・関心を大切に」という項目を設定し、学習への興味・関心を高めたり、動機づけをしたりしています。

4つ目の「実践的・体験的な活動の工夫」についてでございます。

「東書」は、126 ページにございますように、実習の学習過程にチェック表があり、学習内容を再確認し、自己評価できるようにしています。

また、実習の参考例が豊富に記載されており、家庭生活に生かしたり、自らの生活に合わせて、実践できるようにしたりしています。

「教図」は、188 ページにございますように、布の製作物の大きさは、教科書に掲載してある例だけでなく、生徒の思いに添えるように、大きさを変えられるようにしています。

また、新たな題材を学習前に、生徒の実態を確認したり、生活経験を振り返ったりできるように「自立度チェック」を記載したりしています。

「開隆堂」は、129 ページにございますように、調理実習で、必要な食品や調理用具を並列して記載し、調理計画の見通しをもてるようにしています。また、学習を生かした実践の具体例を記載しています。

次に、「資料」について、ご説明いたします。

「東書」は、137 ページにございますように、本文と資料のレイアウトが統一されています。また、実物大写真や多様なデジタルコンテンツ、ページ下の「せいかつメモ」等、学習内容に関連した資料が豊富にございまして、生徒の興味・関心が高められるようにしています。

「教図」は、巻末になりますが、見開きで、1日に必要な食品の種類や概量、献立の作成時に活用できる料理例のシールがあり、彩りや分量が可視化で

	<p>きるようになっております。また、ページの横に内容を説明した QR コードがあり、多くの資料を活用できるようになっております。</p> <p>「開隆堂」は、83 ページ及び 87 ページにございますように、生徒の思いを実現できるように、実習や製作の例、社会状況に応じた新たな情報を記載しております。また、漫画を活用して、生徒に親しみをもたせるとともに、学習内容を分かりやすく説明しております。</p> <p>次に、「表記・表現」についてでございます。</p> <p>「東書」は、118 ページにございますように、学習内容に関連する重要な文言が、太字や字体を変えることで、学習の目標やポイントを分かりやすくしています。また、小学校家庭科の学習が、学習のまとまりの最初に記載されており、小学校との系統性が明確になっております。</p> <p>「教図」は、125 ページ、222 ページにございますように、学習内容に関する重要な文言が、分かりやすくなっております。また、課題解決の場面では、生徒に柔和な表現で、問いかけております。さらに、調理実習や布を用いた製作の過程が、縦書きが多く、手順が分かりやすくなっております。</p> <p>「開隆堂」は、192 ページにございますように、内容ごとに基本的な色を決めたり、色のトーンを抑えて、ページを構成したりすることで、全体的に落ち着きがあるようにしています。また、適度な余白があり、文字や資料の認識がしやすくなっております。</p> <p>最後に「総括」いたします。</p> <p>「東書」は、グラフや図を含め、科学的な根拠や説明を多く取り入れております。そのため、情報量が豊富ですが、学習内容が理解しやすく、家庭生活において活用しやすくなっております。</p> <p>「教図」は、写真やイラストを多用し、視覚的に、知識及び技能を、身につけられるようにしています。また、資料の説明も随所にあり、絵や図と文章で、学習内容を理解できるようにしています。</p> <p>「開隆堂」は、題材のまとめに、必ず SDGs や地域との連携を意識した記載があり、家庭生活と地域社会、そして持続可能な社会の構築を関連付けています。</p> <p>以上が家庭分野の研究調査報告となります。よろしくお願いいたします。</p>
<p>議長</p>	<p>では、質問がありましたらお願いいたします。</p>
<p>家庭部会長</p>	<p>私の方から質問をお願いいたします。</p> <p>現行のものと今回の改定のもの、もし差異があれば端的にお願いします。</p>
<p>議長</p>	<p>現行のものにつきましても、今回の改定のものにつきましても、非常に資料それから文章、そしてイラストや図など、総合的に分かりやすく子どもたちに説明をしているところがございます。より身近なものと捉えられるような工夫が随所でございます。これは3つの会社とも同じでございます。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームの入力をお願いします。</p>
<p>議長</p>	<p>次は道徳です。</p> <p>専門部会長の入室をお願いします。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p>
<p>道徳部会長</p>	<p>道徳専門部会から報告いたします。</p> <p>7社について、同じ項目ごとに教科書目録順に報告いたします。</p>

はじめに「内容項目」について「東京書籍」から報告します。

冒頭に学習テーマが設定されていて、ねらいとする内容項目と考えさせる内容がぶれずに授業を進めることができるようになっていきます。

各学年にユニット「いじめのない世界」が配置されています。複数の教材を通して多面的・多角的にいじめ問題に向き合うことができます。

各学年自己肯定感を高める教材を配置し、学年間の連携が意識できるように配慮されています。

次に、「教育出版」について報告します。

巻頭にオリエンテーションのページがあり、多様な考えを交流し合い考えを深める学習過程や学習方法がわかりやすく例示されています。

各学年「いじめ問題」「生命の尊さ」「つながり合って生きる」「SDGs」をテーマとして複数の教材とコラムを組み合わせたユニットが設定されています。

1年間の学びをもとに「よりよく生きる」ことについて考えを深めるページを設けています。

次に、「光村図書」について報告します。

巻頭に「てびき」を設定することにより、教材を通して学ぶ内容を生徒自身が意識し、課題設定や中心発問から、道徳的価値の意義や意味について考えを工夫することができます。

「いじめ問題」「生命の尊さ」「情報モラル」「防災」「キャリア教育」を取り上げ、現代の課題について深く、系統的に考えることができます。年間2回の「チャレンジ」で、話し合いや役割演技による考えを深める活動が紹介されています。

次に、「日本教出版」について報告します。

巻頭の「道徳科での学びを始めよう！」のページを活用しオリエンテーションを行い、道徳的価値の意義や大切さを学ぶ方法がわかるようになっています。

「いじめ問題」「多様性」「SDGs」等に関する教材やコラムを増やし、ユニットとしてまとめ、一定期間に集中して学べるようになっています。各学年の行事や発達段階を踏まえた教材を配列し、生徒が自分事として捉える工夫をしています。

次に、「学研」について報告します。

巻頭に「道徳科で学ぶこと 考えること」として、「考えを深める4つのステップ」が示されており、多様な学び方ができるように工夫されています。生命の尊重、「いじめ防止」に繋がる教材を多く取り扱い「SDGs」「多様性」「キャリア」等の現代的な課題についてユニット化して取り扱っています。

各教材の「メモ欄」を活用して自分の考えを書き込むことができるように工夫しています。

次に、「あかつき教育図書」について報告します。

各学年の巻頭に、授業開きに適した「道徳 はじまりの時間」が配置されており、道徳の時間で学ぶことや学び方が具体的に示されています。

「いじめ」「情報モラル」「共に生きる社会」「キャリア」等の現代的な課題について重点的に学習を深めることができるようにユニット化しています。

発達段階に合わせた考えやすい発問が用意されており、生徒が深く考えることができます。

次に、「日本教科書」について報告します。

各学年の巻末付録に「ウエルビーイングカード」が掲載されており、自分の考えをまとめやすくしたり話し合いを活発にしやすくしたりする工夫をしています。

各学年に「いじめ」の実態に真正面から向き合い考えを深める教材と、「いじめ」を防止する日常生活の在り方に注目する教材の二種類が掲載されています。

す。

発達段階に合わせて、発問内容が深化する工夫がされています。

「資料」について「東京書籍」から報告します。

各学年35教材を配置し、さらに付録に4教材を配置し、補充、深化、統合の役割を果たせるよう構成されています。写真や挿絵、漫画を活用した教材が掲載されており、全ての教材で、QRコードから朗読音声、ワークシート等のコンテンツにアクセスできるようになっています。

次に、「教育出版」について報告します。

本教材30と補充教材5で構成されており、柔軟に活用できるように工夫しています。内容が分かりやすい教材を扱い、視覚的に生徒の興味・関心を喚起する漫画や絵本を用いた教材、写真から考える教材等、多様な教材を掲載しています。

次に、「光村図書」について報告します。

様々な分野で活躍する専門家が、その知識に基づき語りかける読み物や等身大の生徒が登場する読み物等、多様な資料により学びを深めることができます。QRコードから教材で取り上げている人物へのインタビューや朗読音声等に、アクセスできます。

次に、「日本文教出版」について報告します。

登場人物がはじめにイラストや写真で紹介され、ポスターやグラフから考える教材や漫画の教材等、多様な種類の教材が掲載されています。全コラムにQRコードがついていて、写真や動画からイメージをしやすくし、教材内容をより詳しくする工夫がなされています。

次に、「学研」について報告します。

長く評価されている定番教材の他、生徒がよく知る人物教材、最近の話題を取り扱った教材等、多様な内容を扱っています。教材の学習後にさらに学びを深める「クローズアップ」というページを用意し、学びを広げることができるように工夫しています。

次に、「あかつき教育図書」について報告します。

長く読み継がれてきた定番教材の他、現代を代表するスポーツ選手の教材もあり、わかりやすく心に響く教材が多くあります。各教材のQRコードから、教材に関連する動画やWebページ等、導入や終末に効果的に使えるデジタルコンテンツ等が豊富に用意されています。

次に、「日本教科書」について報告します。

道徳的価値に迫るためのテーマや話題を様々な分野や業績を残した人物が直面した葛藤等に求めており、社会的・文化的な多様性、多面性を意識した教材が多く採用されています。

「表記・表現」について「東京書籍」から報告します。

小学校までに学習した「漢字」を使用し、中学生が「読み」でつまづかないように配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。目次と教材冒頭に学習指導要領の4つの視点について色とマークで対応しています。

次に、「教育出版」について報告します。

中学校の新出常用漢字には読み仮名をつけ、ユニバーサルデザインフォントを使用してよみやすさに配慮しています。目次と教材冒頭に学習指導要領の4つの視点について色とマークで示しています。

次に、「光村図書」について報告します。

中学校以降配当の常用漢字に振り仮名がつけられ、本文にはユニバーサルデザインフォントを用いています。内容項目を巻頭でキーワードとして紹介し、各教材のはじめにマークと色分けをして、内容項目ごとの色で統一したデザインにしています。

次に、「日本文教出版」について報告します。

中学校で学習するすべての漢字に振り仮名がついています。専門用語などの難しい言葉については下部に意味が書かれています。教材の始めのページ上部に内容項目が示されており、マークと色で識別できるように工夫しています。

次に、「学研」について報告します。  
学習指導要領の4つの視点をマークで表示し、現代的な課題等との関わりもマークで示しています。ユニバーサルフォントを使用して読みやすくし、注釈が多くあり、必要に応じて補足説明がなされ、教材の理解が深まるように工夫しています。

次に、「あかつき教育図書」について報告します。

教材のはじめに、学習指導要領の4つの視点のマークのみが表示され、生徒がフラットに教材に向き合うことができるように工夫しています。写真や挿絵が適切な大きさに配置され、ユニバーサルフォントの文字が使用されていて、読みやすくなっています。

次に、「日本教科書」について報告します。

教材冒頭に学習指導要領の4つの視点の色とマークで示されており、目次で現代的な課題等との関わりについて、様々なテーマで系統的に示されています。漢字や難解な言葉には振り仮名がつけられ、必要に応じて脚注で補足説明されています。

「総括」について「東京書籍」から報告します。

教材のテーマと合わせて発問が2問に絞られていることで、授業ポイントが分かりやすく、「ぐっと深める」発問を活用することで、生徒がより深く考えることができるようになっていきます。巻末の心情円で、自分の考えを可視化できるように工夫しています。

次に、「教育出版」について報告します。

教材の冒頭に「導入」の問いが設けられています。教材を通して道徳的価値を考えていくことができ、生徒が主体的に学べるように工夫しています。ねらいとする道徳的価値を学べるように「学びの道しるべ」が設定されています。

次に、「光村図書」について報告します。

人権について考えることを大切にし、多様性をテーマとした教材が多く配置され、ユニットとしてまとめられています。他者と協働的な学びができるように生徒が自ら問いを立て、考えることができる教材が配置されています。

次に、「日本文教出版」について報告します。

別冊「道徳ノート」は、授業における話し合いの内容や自分の意見を記入することができ、1年間の学習の積み重ねをしていくことができます。QRコードによって、興味を広げる資料や協働的な学びを活性化するツールが示されています。

次に、「学研」について報告します。

定番教材に加え、最近の話題を取り扱った教材もあり多様な内容を扱い、教科書にメモ欄が用意されており、教材を読みながら考えを記入できるように工夫されています。巻末に学期末に記入する「学びの記録」があり、評価に役立てることもできます。

次に、「あかつき教育図書」について報告します。

教材文章の量が適切で読みやすく、理解しやすい内容であり、発問も生徒が考えやすいものが用意されています。巻末に学期ごとに振り返る「学習の記録」が用意されており、生徒の評価にも役立てることができます。

次に、「日本教科書」について報告します。

主体的・対話的で深い学びに対応できるよう、各学年巻末の「ウェルビーイングカード」を活用し、意見を伝え合うことができるように工夫しています。現代的な課題を題材とした教材が数多く掲載されています。

以上で、道徳専門部会からの報告を終わりにいたします。

議長

それでは、質問がありましたらお願いいたします。

委員

道徳の教科書調査にあたって、どのような点を重視されましたか。

道徳部会長

道徳科の目標に関わる工夫がされていることを考え、現代的な課題などの題

<p>議長</p>	<p>材を取り入れていること、発達の段階に則しつつ深く考えることができ、ねらいを達成するための工夫がされていること、道徳的な課題を一人一人の生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う、考え、議論する道徳への転換につながることを重視しました。</p> <p>ありがとうございました。専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームの入力をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>特別支援部会長</p>	<p>次は特別支援です。        専門部会長の入室をお願いします。        それでは説明をお願いします。</p> <p>それでは、特別支援教育の説明を申し上げます。教科ごと、7教科の説明を申し上げます。</p> <p>初めに国語です。「知識及び技能の習得」では、穴埋めや選択式になっている、また文章は5文程度で短く読みやすくなっているなどの工夫があります。</p> <p>「思考力、判断力、表現力の育成」の面では、俳句や詩を創作するため、写真やイラストが用いられておりイメージしやすくなっています。</p> <p>「学びに向かう力の育成」では、意欲的に取り組ませるため、簡単で親しみやすい題材から日常生活に生かせる題材へと段階的に扱う工夫があり、高等部での現場実習等に役立つと思われまます。</p> <p>「資料」はローマ字に加え新聞記事に親しむものなど豊富に掲載され、文章にルビ、写真やイラスト、挿絵なども多く使われ、生徒が内容をつかみやすくなっています。</p> <p>まとめますと、日常生活や卒業後の生活に結びつく工夫が見られ、生徒の国語への関心が高まり、主体的な学習態度が育まれ、コミュニケーション力の基礎を養うことができるよう作られていると考えます。</p> <p>続きまして「生活」です。</p> <p>「知識及び技能の習得」では、日常行動の一つ一つが段階的な絵や写真で示されており、日常大切な決まりやマナーを繰り返し扱ったり、災害について扱ったりという工夫があります。</p> <p>「思考力、判断力、表現力の育成」では、言葉や文字は少なく、代わりにイラストの表情などで想像力を膨らませる工夫があります。学びに向かう力の面では、楽しい活動が想起される表現や絵写真などを多く使用する工夫があります。具体的な体験をとおして気づきを高めるため、季節感のある活動を取り上げ、季節の移り変わりを感じることができるよう工夫されています。</p> <p>表記面では、絵だけで構成し余白を多く残すページがあり、生徒が見やすいようになっています。</p> <p>総じて生徒が主体的に生活をより豊かにするために考え、表現できる力の基礎基本を伸ばす教科書となっています。</p> <p>続きまして「数学」です。</p> <p>「知識及び技能の習得」では、数量や図形の学習では、時計、秤などの具体物の単位や目盛りを繰り返し扱って、基礎を養う工夫があります。</p> <p>「思考力、判断力、表現力」面で、身近な生活に密着した事柄が扱われていることから、容易に伝え合うことができるようになっています。星4から5への系統性が重視されている点も効果的です。</p> <p>「学びに向かう力」という点では、ゲーム的な活動で意欲を高めたり、デジタルとアナログがある日常生活との関連が示されたりと工夫があります。</p> <p>「資料・表記」の工夫も随所に見られ、まとめますと、生徒の興味・関心を</p>

もって必要性を感じながら、数量や図形の処理能力を高めることができる教科書となっていると考えます。

続きまして「音楽」です。

「知識及び技能の習得」では、通常学級で扱う歌が豊富に掲載されており、学年に合ったものを選択できるよさがあります。

「思考力、判断力、表現力の育成」では、絵のイメージをもとに楽器を演奏するなど生徒の思いを表現しやすいという工夫があります。星本5のまとめに音楽劇づくりがあり、深い学びが意識されています。

「学びに向かう力」では音楽に合わせて、体全体を動かして楽しくリズムを刻めるような曲が選定されています。音楽的な基礎を伸ばす点では、リコーダーで演奏しやすいような曲の工夫があります。

「生活や社会の中での音楽との関わり」では、英語曲や歌謡曲が段階的に用意されている工夫があります。資料には日本の民謡などがありました。

まとめますと、星本4から5へ学びがつながり、音楽よってもたらされる安定した日常生活につながる教科書になっていると考えております。

続きまして「社会」です。

「知識及び技能の習得」では、公共交通機関のルート検索や、災害についての正しい行動なども細かく扱われている工夫があります。

「思考力、判断力、表現力の育成」では、星本4から5へと、市町村から都道府県へ、また日本と様々な国々へと系統性が明確になっています。

「学びに向かう力」では、星本4で障がい者手帳やマイナンバーカードの取得と受けられるサービス、5で税金についてというように、実生活に結びつく内容になっています。

「課題を探究、解決する活動」という点では、発問が重視され、資料などから読み取り、課題解決できるような構成です。資料はインターネットで検索したページやグラフ、表など豊富です。表記には、「見つける」「調べる」などの活動がマークで示してあり、何をするかつかみやすいつくりとなっています。

総じて、身近な日常生活に結び付けながら、地域そして日本、世界へと題材はつながっていき、社会生活に必要な基礎と態度を身に付けられる教科書になっていると考えます。

続きまして「理科」です。

「知識及び技能の習得」では、すべての単元で「問題」「予想」「観察」「結果」「まとめ」と学習の流れが示され、生徒が内容をつかみやすいという工夫があります。

「思考力、判断力、表現力の育成」では、複数の結果を対応させて比べられるようになっていて、思考を促すつくりになっています。

「学びに向かう力」では、主体的に実験や観察できるよう、準備するものや手順が丁寧に示されています。科学的に探究する学習活動の充実では、発問に対して生徒の感想や疑問が様々取り上げられており、思考しやすく解決につながるよう工夫されています。

「日常生活との関連」では、学習した観察や実験によって日常生活を見直し、学びを実生活に生かすことができるようなつくりになっています。資料はQRコードから得られる動画などデジタルコンテンツが使われています。

まとめますと、生徒が事前の事物・現象について課題をもち、科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することに大きく役立つ教科書になっていると考えます。

続きまして「職業・家庭」です。

「知識及び技能の習得」では、実生活に即した技能が身に付けられるよう構成されています。

「思考力、判断力、表現力の育成」では、インターネット検索やプレゼン方法が示され、タブレットを活用した学習が推進されるようになっています。

「学びに向かう力」では、日常の家庭生活で必要な仕事について学び、自身



議長	<p>の役割分担を自覚し、生活にいかしていけるようになっていきます。</p> <p>「実践的、体験的な活動の工夫」では、星本4で学んだ食事の意義やマナーをもとに、星本5で栄養素や食品の表示、計画的な調理などにつなげ、日常生活に学びを生かすような工夫があります。見開きページで見やすく、資料では実物大の食品の写真が使われるなどイメージしやすい工夫がありました。</p> <p>まとめますと、生活や職業に関する実践的で体験的な活動ができるとともに、実際の生活に活用できる力が身につく内容になっていると考えます。</p> <p>以上で、報告を終わります。</p> <p>質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。 専門部会長は退席をお願いします。</p> <p>ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは採点用紙に記入及び採点フォームの入力でございますが、フォームの方に書いてありますとおり、特別支援につきましては、採択は生徒の実態に合わせて使用するにふさわしいかどうかを判定し、○印の御記入をしていただければと思います。</p> <p>では、よろしくをお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、以上で調査研究報告を終了いたします。</p> <p>次に、採点に移ります。これから中学校教科用図書の採点を行います。</p>
議長	<p>それでは、事務局より、中学校の採点結果の確認をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、集計結果を発表いたします。発行者番号 発行者略称 得点の順に読み上げます。</p> <p>国語 2東書18点 15三省堂20点 17教出18点 38光村25点 書写 2東書23点 15三省堂17点 17教出17点 38光村23点 社会（地理） 2東書25点 17教出18点 46帝国21点 116日文18点 社会（歴史） 2東書25点 17教出19点 46帝国18点 81山川16点 116日文19点 225自由社16点 227育鵬社15点 229学び舎13点 236令和12点 社会（公民） 2東書25点 17教出18点 46帝国20点 116日文18点 225自由社15点 227育鵬社16点 地図 2東書20点 46帝国25点 数学 2東書24点 4大日本18点 11学図19点 17教出18点 61啓林館23点 104数研16点 116日文16点 理科 2東書20点 4大日本16点 11学図20点 17教出16点 61啓林館23点 音楽（一般） 17教出20点 27教芸25点 音楽（器楽） 17教出20点 27教芸25点 美術 9開隆堂24点 38光村22点 116日文19点 保健体育 2東書19点 4大日本18点 50大修館21点 224学研25点 技術家庭（技術分野） 2東書20点 6教図18点 9開隆堂25点 技術家庭（家庭分野） 2東書22点 6教図18点 9開隆堂25点 外国語 2東書21点 9開隆堂25点 15三省堂19点 17教出16点 38光村17点 61啓林館16点</p>

	<p>道徳 2東書17点 17教出17点 38光村16点 116日文25点 224学研17点 232あか図18点 233日科15点</p> <p>特別支援（国語） 2東書 ○5点 特別支援（算数・数学） 17教出 ○5点 特別支援（生活） 2東書 ○5点 特別支援（音楽） 2東書 ○5点 特別支援（社会） 2東書 ○5点 特別支援（職業・家庭） 2東書 ○5点 以上です。</p>
議長	<p>本会の初めに事務局が申し上げましたが、ただいま発表された「選定委員会における集計結果」につきましては、久喜市教育委員会令和6年7月定例会に提出いたします。</p> <p>それでは、皆様の御協力により、無事議事を進行させることができました。ありがとうございました。</p>
議長	<p>最後になりましたが、情報公開について事務局から説明があります。</p>
事務局	<p>過日の第1回教科書選定委員会の中で承認されましたとおり、久喜市情報公開条例に基づき、情報公開を行ってまいります。</p> <p>なお、公開の時期につきましては、国の採択期間が8月31日までとなっていることから、翌日の9月1日以降の公開となります。</p>
議長	<p>事務局案に御質問はありますか。</p> <p>なければ、このかたちで、情報公開をしていきたいと考えます。</p>
議長	<p>規約規定により、議長の任を解かせていただきます。</p> <p>以後の進行を事務局お願いします。</p>
司会	<p>委員長の内山様、ありがとうございました。</p> <p>それでは諸連絡を事務局より御説明申し上げます。</p>
事務局	<p>このあと、本日の結果を久喜市教育委員会7月定例会に提出いたしまして、委員長、副委員長から説明したのち、採択となると伺っております。本日の資料につきましては、この後、回収させていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>閉会の言葉を選定委員 松村 薫 様、よろしくお願いいたします。</p>
副委員長	<p>これもちまして、令和6年度第2回久喜市教科用図書選定委員会を終了いたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p>

上記の内容に相違ありません。

令和6年 7月 23日

久喜市教科用図書選定委員会 委員長 内山 真二